大正九年十二月二十六日 第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
六月十一日

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介
發行所 新京日日新聞社
新京永樂町四ノ一 電話三二三五・三三〇〇

防空演習畫報

寫眞説明

(一)毒ガス彈を見舞はれた白菊町附近
(二)驛前で敵機を窺ふ高射機關銃隊
(三)白菊町附近毒ガスに見舞はれた現場巡閲の佐野統監
(四)軍司令部前の敵機の襲來を待つ照明燈及び聽音機
(五)敵機大擧して來襲

國都空襲の日は遂に來た

突如敵機襲來！
全市忽ち緊張の極
午前八時愈よ警戒管制に
防護團一齊に起つ

紺碧に晴れた六月の空だ、むくむくと白雲の團塊が迫る戰機を暗示する、午前八時、その雲界を破つて、おゝ襲撃敵機の爆音が響きわたる、あゝこの瞬間、全新京は立ち上つてわれらの國都はわれらで護ると緊張のクライマックスへ！三機編成の敵機、むかへ撃つわが銀翼、空に地に壯烈なる、そして最も近代的な戰闘の開幕だ、警報は街から街へ！鳴りわたる高射砲！機關銃のリズム！馳け廻る防護團員！防空演習の本格的第一日はかくして展開されて行つた！

敵彈各所に炸裂
目覺しい防護團の勇躍
けふの戰況を見る

第一回

この日午前八時敵機襲來の報に全市忽ち警戒管制に入つたが、第一回の空襲は南嶺市街長通路附近および寛城子バス終點で行はれ、同時三十分終る、第二回は午前十時から白菊町附近、新發屯、北安路附近で行はれ、同時三十分終了した、何れも敵彈を投下し、戰況は左の通りである

防衛司令官の命令一下各機關一齊にそれぞれ部署につき敵機の來襲今や遲しと待つ間程なく午前八時「敵の飛行機三機大屯上空を通過新京を空襲するものゝ如し」との情報を防衛司令部の情報班がキャッチ直ちに各防護團長に通報緊張の一と時、八時十分警報全市に鳴り轟くや敵機三機編隊にて悠々新京の上空に現る此の時防衛司令部屋上の機關銃隊一齊に火蓋を切り正に壯烈なる空襲戰の幕は切られ敵機は市內數ヶ所を爆撃し北方に飛び去つた時八時三十分

南嶺方面

敵空襲の報に接した南嶺防護團では直に非常召集を受け全市街に水も洩さぬ警戒を終へるや午前八時敵空襲機は突如南嶺西南方上空に爆音をたて白雲の間から姿を現はし國都の上空に逆んでくるや、南關に防備された高射隊並に機關銃隊では時こそ來たれとばかりに敵機目懸けて物凄い火を吐きつゝ發砲を開始した、敵機は彈雨をものともせず國都上空にぐんぐんと前進遂に南嶺上空に來たり大同學院分館憲兵訓練所目懸けて燒夷彈を投下し各廳舍から黑煙を吐きつゝ大火災を起す、つゞいて毒瓦斯彈を投下した、召集を受けた防護團員、國防婦人團員は總ての準備を終へ一齊に防止作業に移つたが投下された家屋は益す延燒をつゞけた急報により特別市消防班は消防ポンプ四台をつらね驅けつけ直に消火作業を開始し、たゞ一部の損害に止めて漸く鎮火した

長通路方面

長通路防護分團本部では敵機の襲來の報により趙分團長指揮の下に關木副分團長以下各班團員はそれぞれ所定地につき防護準備を終るや、午前八時十五分敵機現はれ宮廷府入口長通路街へ燒夷彈一個、毒瓦斯彈二個を投下した、區分された各班では消火に防毒に負傷者救護に敏活な行動で作業に從事し見事な出來榮えだつたがこの時佐野防衛司令官は幕僚を從へ現場行動を觀察し團員一同更に士氣あがつた

寛城子方面

敵の空襲近しの急報に接した寛城子分團長は午前五時全團員に非常召集を命じた、曉を衝いて日滿一体の防護團員は續々と防護團本部寛城子警察署廣場に勢揃ひし滿洲國々歌を合唱士氣を鼓舞した後關大尉の指導の下に午前八時全員の配置を終つた息詰るやうに刻々と時間は過ぎてゆく午前八時二十分遂に敵機現る乙國偵察機編隊は寛城子の上空を或は低く或は高く飛翔しつゝた、轟然たる爆音に空をみればいつの間にか友軍の戰闘機は敵機を急突してゐるのだ、壯絶極りない空中戰闘だ、高射機關銃の連射！街には白いエプロン姿の國防婦人會員の配給、救護の健げな活躍が鮮に展げられてゐる、かくて午

來襲、空襲だ！本部から指令が飛ぶ俄然寛城子バス終點廣場に燒夷彈は放たれた、防毒マスクをかけた少年ガス斥候が隼のやうに驅け廻る、續いて警戒班の活動、消毒班が出動して消毒作業が展開され

新京防護命令

六月十一日午前七時
於防衛司令部

一、諸情報を綜合するに敵は今明に亘り我新京の空襲を企圖しあるものゝ如し
二、我新京防衛陣は軍官民一致敵機の企圖を撃破し首都の安全を期せんとす
三、新京聯合防護團並各特種防護團は密に日滿軍憲と協力益々從來の團結を強化し其統制ある活動を以て國都防空の完璧を期すべし
四、予は防衛司令部に在り

新京防衛司令官　佐野少將

前八時三十分第一回空襲防空作業は終了した

鐵道建設事務所

午前八時五十分新京鐵道建設事務所目がけて敵の爆撃機から投下された燒夷彈は同事務所構內に落下し、建設事務所防護團では素早く交通整理に移ると同時に物置きに火を發したので消火筒數台で消火に努めた結果大事にいたらず鎮火した

新京驛方面

午前中に二回に亘つてガス彈投下をうけた新京驛構內では一時混亂狀態に陷つた、午前八時第一回空襲で三等待合室入口驛前廣場に持久性ガスが落下され直ちに消毒班の活動交通整理班の交通整理で漸く構內附近も落ちついた、やがて九時五十分ごろ第二回空襲では保安區前馬車停留所にガス彈が投下されて驛員、市民の數名中毒に罹り、救護班の出動を見た

第二回

午前九時三十分頃敵爆撃機は千五百米內外の高度をもつて京濱線に沿つて南下張家灣附近上空を通過午前十時頃新京を空襲するものゝ如しとの情報を接受した防衛司令部は極度に緊張佐野司令官は幕僚室にて各幕僚と共に作戰計畫を練りつゝあり情報班は各防護團に警報を發する等司令部は極度の緊張をもつて待機中である時正に九時四十分

新發屯方面

白菊町會館に本部を置く附屬地第四分團は各分團よりの空襲の報に接し俄然緊張、久松分團長以下全團員は午前九時全く配備についた、午前十時四十分本部前方約二百米の地點に燒夷彈が投下され白煙もうもうと附近の住宅を覆つてしまつた、消火班の活動が手にとる樣に見える、大經路分團の活躍振りだ、本部を中心に召集された全團員の意氣はいよいよ軒昂空をみつみて息づまるやうな待機の姿勢だ、午前十時統監兼防衛司令官佐野少將が巡察のため本部を訪れた、大人に交つて商業生、中學生、女學生が懸命に活動してゐるのを見て統監は快心の微笑を浮べてゐる、午前十時十分突如現れた乙國軍爆撃機は本部の上空を轉廻しつゝ燒夷彈を投下した、それッ空襲だ、白菊町會館に火はうつらんとしてゐる、消防班の出動開始、急報に接した消防隊が來援する、續いてガス彈落下カーキ色の服に身を固め防毒マスクをつけた女學生の活躍が目立つ、指導官の小田島少佐は右往左往して團員の指導に懸命だ、既に本部は毒ガスと火炎に包まれ負傷者がタンカに乘せられて救出されてゆく、必死の防火防毒作業のうちに十時三十五分演習は中止された

第三回

午前八時と十時二回連續的に新京を空襲した敵機は勇敢なる防衛に多大の損害を蒙つたが、更に屈せず午後一時三十分方面を變へて吉林方面より京圖線に沿ひ沿線市街を空襲して三度び新京上空に現れ四道街四馬路の十字路に燒夷彈を投下し、一旋回後、大經路市公署附近に瓦斯を投下續いて翼を返して寛城子火藥庫附近に燒夷彈を投下火藥庫は一大音響と共に爆破されたが各箇所とも訓練された防護團の勇敢なる活動により最少限度の損傷で喰ひ止めた

出產と急病人 通行を許可

十一日夜敵機の空襲に際して實施する燈火管制中においても出產或は急病等特に急を要する場合は最寄の警察官、憲兵が同乘して通行を許すことになつてゐる

防護命令一下
實戰宛らの緊張
けふの演習統監部

新京防空演習の見學演習は十日で終了十一日よりいよいよ本格的の綜合演習に移つた此日統監部及防衛司令部は午前六時より各班首腦者以下出動各方面の情報蒐集命令の傳達にさながら實戰の如き緊張を見せてゐたが佐野防衛司令官は午前七時各防護團長に別項の如き命令を下達し茲に本演習の豪華版綜合演習の幕は切つて落された

佐野統監一行
けふ訓練狀況視察

綜合演習第一日目十一日午前七時といふに早くも統監部に姿を現した佐野統監は幕僚室にて各方面への命令作戰等大多忙を極めてゐたが午前八時には原、宮村、柳本各幕僚を隨へ長通路變電所附近訓練狀況を視察次で午前十時より白菊町と北安路交叉點同午後一時より四道街四馬路十字路、大經路市公署附近、寛城子火藥庫附近をそれぞれ視察したが午後は三時三十分より南廣場同八時三十五分より軍司令部屋上より燈火管制を視察午後十時鐵道北發電所附近の訓練狀況を視察する豫定である

憲警ら出動し
恰かも戒嚴令下
市內の物々しい警戒

敵機襲來の報に防護各機關は一齊にそれぞれ所定の部署につき活動を開始したが一方憲兵隊、日滿警察、日滿少年團が出動して市內の要所要所を固め交通其他の取締に當り正に戒嚴令下の情勢を示してゐる

防護命令傳達
直に各分團本部へ

聯合防護團本部では午前七時武田團長から訓示あり、同團長は山內少佐、岡副官とゝもに直ちに消防隊、第二分團本部を訪問、防護命令を受けてのち防衛司令部を觀察してのち一旦本部にかへり附屬地區並特別地區本部に傳達、それより各分團本部に傳達されたなほ武田團長は九時第四分團に至り防毒狀況その他を實地に觀察した

實に感心
武田團長語る

附屬地各分團の訓練演習を視察した武田聯合團長は語る

私は本朝六時から第一番に第三分團を觀察したがその時既に國防婦人會員三十名が集合し男子とともに活動してゐるのには感心した、つゞいて第二分團、第四分團を觀察し佐野防衛司令官から命令を受領し本部でそれぞれ各分團長に命令した附屬地區で第一に敵襲を受けたのは第四分團區域で、同分團は人數は百二十名の少數であるが中學生並に女學生が參加して催淚瓦斯の防止その他燒夷彈投下の際消防班の敏活であつたことは實に感心した、第一回としてはより以上によく出來てゐる

特別市區
植田團長語る

特別市區各分團の訓練演習を觀察した植田團長は語る

私の方は南嶺、寛城子、四道街、大經路、長通路の五分團に本部を置いてゐるが何れも區域が非常に廣いがそれぞれ分團ともに男、女（國防婦人）出動で防衛に當り統制をとつてゐることは滿人ながら實に感心である、第一回の出來は良好と云つてよい

昨夜の燈火管制
不心得者もあつた

綜合演習の前哨戰とも言ふべき燈火管制は十日午後九時三十分長音のサイレンを合圖に附屬地內一齊に行はれた、當日の管制は屋內のみの管制で各戶の燈火は遮蔽物をもつて外部に漏れぬやう行はれたが各官衙はやゝ完全に近い程度に管制されてゐたがホテル旅館等光々たる燈火を外部に洩してゐたのみか中にはご叮寧にも窓を開け放してゐる不注意な所も相當多かつた模樣である

日本側の要求全部
支那側正式承認
何應欽より正式回答

【北平十日發國通】九日酒井參謀長より何應欽氏に叩き付けた爆彈抗議は支那側をいたく狼狽せしめ、何應欽氏は中央に急電をとばし請訓中の所昨夜中央より日本側の要求全部を承認せよとの正式電命に接したるを以て、十日午後高橋武官に對し日本側の要求全部を承認する旨正式に回答して來た

寛城子遞信所に
突如敵彈命中
けふ爆破假想命令

午前十時防衛司令部より寛城子遞信所に對し爆破假想命令を發したところ同所より左記の如く爆彈命中並にこれに對する措置の報告が司令部に達した

寛城子遞信所爆破被害及措置狀況

十一日午前九時四十分對獨空中線二個、對日無線無信電話空中線四個、午前九時五十分百キロ放送鐵塔へ一個計七個の爆彈命中し空中線及び機器建物全般にわたり大被害を受け、右に對し電々隊では防護令規定に基き直に寛城子軍用通信所と連絡し取敢へず重要なる日滿無線通絡を保持するの方針の下に對日無線電信線一回線對日及無電一回線を軍通信所遞信所及空中線を共用し午前十一時三十分開通せり更に破損個所は電々無線工作班において目下極力修理中にて午後五時ごろまでには全部復舊の見込み

今夜初めて夜襲
全市忽ち暗黑に
八時半燈火管制に入る
各戶誤りないやう

今次新京防空演習最初の燈火管制はいよいよ今夜初めて實施される、午後八時三十分第五回空襲の警報にサイレンは一齊に吹鳴らされ、こゝに全市消燈不氣味な暗黑街に化すわけだが、國都を襲つた敵機はこれが防衛の甲軍飛機と暗黑の夜に入亂れて壯烈極まる空中戰を演じながらも四道街警察附近、大經路分團警察署附近、ダイヤ街附近、驛前にそれぞれ瓦斯彈燒夷彈を、また寛城子中央市街地に燒夷彈を投下し、午後九時敵機退却とゝもに管制解除を報せるサイレンが鳴り響きこゝで燈火管制を終了する、なほ右終つて第六回空襲は午前十時から十時半まで行はれ長通路、大馬路、四道街警察署附近にそれぞれ燒夷彈瓦斯彈を投下して演習第一日は全く終了するはずである

一般市民の心得

燈火管制の目的及び方法をこゝに再記して軍官民一致この管制の目的達成に資することゝしよう

一、燈火管制の目的は敵飛行機の國都發見を困難にし或は空襲の危害を少くする爲行ふ
二、管制は消灯とは違ふ、消灯、遮蔽、隱蔽、制限の四つの方法がある
三、管制は電灯會社のみで行ふのではない各家は各自で行はねばならぬ
四、管制中に於ける市民の心得
一、火災を起さぬこと
二、交通事故を起さぬこと
三、豫備灯を準備しあること

管制實施の方法は
一、空襲管制においては
（イ）門軒燈、構內燈は需用家において消燈する
（ロ）一般街燈は電氣事業家において消燈する
（ハ）附屬地および城內殘置街燈は防護團において消燈する
（ニ）國都殘置街燈、廣告灯は電氣事業家において消灯する
（ホ）看板灯、ネオン灯は需用家において消灯する
（ヘ）室內灯は晝夜間線、夜間線ともに需用者において遮蔽隱蔽する

空襲警報

△發令（敵機襲來）サイレン　ブーと二分間連續吹鳴
電燈點滅　消（二秒）點（三秒）點滅三回反復ラヂオ「空襲」
△警報（敵機逃避）サイレン　ブーブーと三秒間を置き六秒吹鳴十回反復す
ラヂオ「空襲解除」

各分團幹部會議

附屬地分團本部では十日午前十一時から地方事務所會議室で各分團副分團長以上を召集し連絡上の會議をなした

南軍司令官歸京

去る三日以來北滿方面の管內巡視中であつた南軍司令官は園田參謀、名波副官帶同、十一日午前十時四十分飛行機でハルビンより歸京した

八田滿鐵副總裁
入京

八田滿鐵副總裁は十一日朝八時五十分着列車で石本總務部長を帶同して入京、直に滿鐵理事公館に入つたが往訪の記者に對し左の如く語る

今回の上京は北支問題とは何等關係はない來る廿日東京で開かれる株主總會に出席するに先立ち、挨拶と打合せに來たのだ

と、多くを語らないが先般風雲急の北支を觀察して歸つたばかりの石本氏を帶同するところから相當重要な用件を帶びる事が推察される、尙同副總裁は今夕八時發列車で歸連明日出帆のはるぴん丸で內地へ向ふ

秋山中佐歸任

參謀本部秋山中佐は午前十時新京發あじあで歸任の途に就いた

人事往來

▲關屋悌藏氏（滿鐵社員）十日午後來京ヤマトホテル投宿
▲石村長七氏（奉天鐵道事務所副所長）同
▲中村武雄氏（東京機械商）同
▲森山鋭一氏（法制局參事官）同
▲野口多內氏（奉天居留民會長）同
▲神保成吉氏（遞信省技師）十日午後發大連へ
▲神保銀三郎氏（洋畫家）十一日午前來京ヤマトホテル投宿
▲エス、スキデスキー氏（實業家）同
▲松山一次郎氏（代議士）十一日午前發哈市へ
▲泉雪香氏（神戶水上署長）十一日午前來京
▲豬苗代警視（關東州廳）同
▲宇佐美寬爾氏（滿鐵理事）同
▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）同
▲石本總務部長（滿鐵）同
▲アルベルトウイエ氏（駐哈白耳義領事）同
▲內田領事（チチハル）十日來京國都ホテル投宿
▲阪井源太郎氏（三機工業株式會社員）同
▲宮坂謹一郎氏（同）同
▲平野磬氏（奉天稅務監督署副署長）同
▲前島與一氏（撫順炭坑會社員）同
▲物佐間武治氏（奉天會社員）同
▲大野幸作氏（安東會社員）同
▲小松國造氏（織工所主）同
▲鈴木実作氏（安東會社員）同
▲柴田亮一氏（開原小學校長）同
▲松木正介氏（電業公司社員）同

けふの鈔相場

國幣對金票 [illegible]
鈔票對金票 [illegible]
國幣對鈔票 [illegible]
現大洋對鈔票 [illegible]

天氣と氣溫

明日の天氣　南寄の風時々後薄曇
日の出　午前三時五十六分
日の入　午後七時二十一分
月の出　午後二時四十一分
月の入　午前〇時三十分
けふの氣溫　最高 廿六度三　最低 十二度三

新撰爆笑隊（禁上演）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

現代篇

二　とんだ御挨拶（一）

御挨拶と聞いて、お篆はいよいよ眼の眠をみはつた。

「あら、いゝのねえ。——まア、さうですか。ちつとも存じ上ませんで……あの、まことに濟みませんが、私にも一枚——頂けないでせうか。」

「なアに、私のブロマイド？」

「いゝえ、切符——」

「切符？」

「はア……浦和國戰へおいでになつたんでせう。」

「あら、いやだ。キネマの女優ぢやあるまいし、そんな御挨拶ぢやないわよ。——實は今日、少し話があつて陵さんに相談旁々やつて來たのよ。——ゐるでせう？」

「さア……何處かブラブラしてるかも知れませんわ。」

「サラブラ？」

「えゝ、奥さんは中々交際家でせう。それに御用がないもんですから、晝間ば皿沼中を彼方へブラブラ、此方へブラブラ……」

「あゝ左樣——銀ブラのブラで皿ブラ……相變らず呑氣ね。」

「えゝ、お洗濯なんか些ともなさいませんわ。」

「まア、隣澤ね。——全部洗濯屋へ出すの？」

「いゝえ、他人に洗はせるんです。」

「あらいやだ。——日曜に臨さんがじやぶじやぶやるのかしら。」

「それならそれで結構ですけど——お洗濯の天才だなんて謂はれていて……あのズロースまで私に……」とお篆は洋裝の女優を半ば友達扱ひにしさうな口吻なので、流石の百合江もいさゝか持て餘し氣味のところへ、隣の半の綾子が勝手口から現はれた。

「矢張り百合さん——どうも聲が似てると思つた。何を二人でぺちやぺちや立ち話しなんかしてるの……みつともないわ。さア、自宅へお入んなさい。」

「えゝ、少し眞面目なお話があつて來たのよ。」

「お篆さんに？」

「そんな皮肉をいふんぢやないの。」

「ほんとですわ、奥さん——私何にも申上げた次第ぢやありませんわ。ねえ？」形勢非なりと悟つてお篆は百合江の聲援を求めた。

「左樣よ。唯お洗濯の講釋を承はつただけだわ。」

「そんならいゝけど……まつたくお篆さんと來たらその道の天才だわねえ。」

「もう澤山ですわ、奥さん——まだどつさり潰かつてますから、私これで失禮させて頂きます。御免下さい。」と姿を消せば、御用聞きらしい通りがゝりの自轉車小僧、醜に稀なる洋裝のモガ二人を胡散臭さうに眺めて呟いた。

「オヤ、また一人皿沼名物がふえやがつたぞ。」

その百合江——何用あつての御入來か……表面は大變華やかで鮮麗の眼やかなカヂノ・フォリーも、内幕を覗くと甚だ幻滅の悲哀とやらを感ずるやうである。——人氣の頂點にあつて百パーセントのイットを發散させる花形のお給金なるものが、晝夜ぶッ通しの十何時間ん勞働で月給僅か三十圓と聞いては、大抵のファンも自分の耳を疑はずには居られまい。わが綾子もこの百合江の愚痴交りの泣言には開いた口が塞がらなかつた。

「へえゝ、それッぽち——呆れたわね。」

「でも私なんかいゝ方よ。普通の女優さんだと十五圓から二十圓……」

「よくそれで默つて、るのね」

「だつて、あんた、彼處の搾取階級には人間の言葉なんか通じないわ。」

「どうせ資本家は納讃よ。」

「うゝん。違ふの——相手は金魚たの盤なんですもの……」

ラヂオ

十二日（水曜）

防空演習特輯　放送番組（第二日）　新京放送局

空襲警報は次の様な方法で告知致します

放送時間中に警報の必要が起きた場合にはその放送を中斷して警報を致します

一、警　報　呼鈴連續約十秒間　引續「警報」連續三回

二、警報解除　呼鈴（警報と音質を異にす）連續約十秒間　引續「警報解除」連續三回

午前之部

六、〇〇　建國體操（滿語）
六、一五　ラヂオ體操（大連）　入港船の御知らせ（大連）
引續き
六、三〇　初等滿語講座（大連）
七、〇〇　初等日語講座（奉天）　講師　秩父固太郎
講師　近藤　喜助
七、二二　朝の音樂（大連）
八、〇〇　演習想定、情況、規模の解説及び諸注意事項の説示　統監部放送室より中繼　松村砲兵大尉　（通譯）于　作洲
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　空襲及び防護作業情況
1、大同廣場外交部屋上より中繼
2、統監部廳舍近傍より中繼
一〇、五九　時　報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一　經濟市況（大連引續新京）
〇、二〇　ニュース（滿語）
〇、三〇　建國體操（國語）
〇、五〇　ニュース
一、〇〇　空襲及防護情況　宮内府前廣場より中繼
二、四〇　演藝（レコード）（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連引續新京）
三、五〇　ニュース
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演　藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（大連）　童話　愛に輝く　大連朝日小學校　小笠原　義雄
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　演習第二日の成績及所感　統監部放送室より中繼　松村砲兵大尉　新京中學一年生　久保　欽哉
七、〇〇　謠　曲（東京）　俊寛　シテ　觀世　喜之　ワキ　觀世　武雄　康頼　渡邊　政男　成經　長山　勝次　地　觀世　喜之　地　觀世　武雄　地　渡邊　政男　地　長山　勝次
七、四〇　聲　色（東京）　吹き寄せ　山本ひさし
七、五〇　浪花節物眞似（東京）　浮世亭雲心坊
八、〇〇　講　談（東京）　伊東　凌潮
八、三〇　時報ニュース（東京）　引續き　ニュース
八、四五　ニュース、經濟市況　氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇　演習第二日之成績及所感（松村大尉講演）　通譯　于　作洲　新京○學校高級二年生
九、三〇　ジャズ（大連）　賈　祐忠　高千穗ジャズバンド
一、コンチネンタル
二、山賊の合唱
三、大地の春
四、峠の春
五、新内流し
六、ハッチャチャ
七、浮かれ星
八、アリゾナホーム
九、クカラッチャ
一〇、〇〇　空襲及燈火管制情況　統監部前庭より中繼
一〇、三〇　燈火管制成績の概評　統監部放送室より中繼　權藤歩兵少佐　（通譯）于　作洲

居住消息

▲菊地淑皓氏（茨城縣）富士町二丁目十一番地堀之内方へ
▲安藤喜知氏（石川縣）ハルピンから平安町二丁目六番地ノ八へ
▲本田一郎氏（宮城縣）山吹町櫻木寮十一號玉水方へ
▲保坂保信氏（山梨縣）大連から老松町十六番地京圖寮へ

轉居

▲大森元男氏興安大路から北安路義濟會館へ
▲小地森三氏錦町から八島通り四十六番地東亞煙草會社へ

出生

▲酒井正甚氏（敷島通り四號ノ四）次女和子さん二日出生

六月十二日　水曜　己未　佛滅　除　壁宿

●一白の人　目前の小利に齷齪せず永遠の計を立つべし　乙と辛と癸が吉
●二黑の人　平和なれば無爲に終らぬ樣に努力すべき日　丙と丁と庚が吉
●三碧の人　事物を整頓し一糸亂れざるやうに進むべし　乙と辰と丙が吉
●四綠の人　吉凶交々に入り來る日商事は尤も注意せよ　辰と丙と癸が吉
●五黃の人　小事より大事を生じ易き日萬事に亘り注意　丙と午と庚が吉
●六白の人　道は遠く荷は重くとも努むれば必らず達す　未と辛と壬が吉
●七赤の人　天運次第に廻り來る機を逸せぬやうすべし　辛と壬と寅が吉
●八白の人　進み過ぐるときは安定を失ふことあり注意　丙と丁と辛が吉
●九紫の人　徐々吉に向つて進み行く日但投機は凶なり　甲と丁と未が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

夕朝刊共十二頁

發行所　新京日日新聞社

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

防空演習畫報

（一）毒瓦斯彈を見舞はれた避難者の雜沓（昨日午後三時南廣場にて）
（二）毒瓦斯彈を見舞はれた新京驛プラットホーム（午後九時）
（三）救命袋で救助作業（昨日午後三時南廣場にて）
（四）照空隊の活躍（防衛司令部前）
（五）燈火管制下を新京驛についた昨夜の「ひかり」—催涙ガスを見舞はれ乘客下車中止命令の刹那

社説　現下日本の政治的貧困　國運隆昌なれど政府は弱体

一

日本近時の國際的場面に於ける躍進を人は幸運續きだと言ふのである。なるほど、政治が低級拙劣でありながら、國運はひとりでに隆昌になるといふ所を見れば當つてゐないでもない。このやうなことは建國以來最近までの米國についてもそう言へる。政治家には第二流以下の人物がなる政治の遣り方も大体拙劣で、突飛だつたり無統制だつたりしたのに拘らず、その國運はまさに日の出の勢ひでトントン拍子に隆昌に赴いた。少くともあの大不景氣襲來の以前までの米國はさうであつた。政治が拙くても國力が伸びたのは米國に資源が豐富だからである。政治家輩が朋黨比周や利權壟斷に憂身をやつしてゐたに拘らず、確りした事業家が國の資源を開發して富を作つて又富を散じて社會風敎の事にも政府の力を俟たず、民間で熱心に努力する人々が多かつたからであつた。經濟上の實力があるから、少し位の過誤が政治にあつてもそれを償うて國として大したボロを出さずにすむ。

二

日本の最近の情勢もその結果に於いては米國に似てゐるが、その原因と環境は全然異る。我が資源は米國と比較にならぬ程貧弱で、しかも人口は過多だ。物資豐富の力で施政の貧弱を補ふことが出來ぬそれのみか反對に人智技巧の優越纖細で資源の貧弱不足を補はねばならぬ。從つて政治は最も能率的にその機能を發揮しなければ國運を進展せしめることが出來ないのである

三

現下の政治の貧困、それにも拘はらず躍進する國運は一時の變態的現象であつて早晩整理されねばならぬものである。今の日本の隆盛は政府の外に散在する諸種の推進力のおかげによるのであるが、このさまざまの推進力を一個所にまとめて政府の統轄內に於ける統制力ある推進力としなければならぬ。現政府の弱体なすなきは周知のところ、加ふるに資本家の壓力はますます加はりつゝある。內閣審議會や調査局が生れねばならぬ宿命を悲しむほかない。にも拘はらず國運は隆昌に向つてゐる。政治の統制調節作用はよく效いてゐないに拘はらず盲目的な推進力は我が國力を各方面に向つて押し擴げやうとする。慶賀すべきでもあり危惧すべきでもある場合によつてはどんな過當進出や過猶爆發がないとは限らぬ、殊に外交方面でその杞憂感がある政治の窮乏、政治の貧困、一強く正しい政府を必要する所以はこゝにある。愛國といひ非常時といひつゝ底部に內訌する社會不安をいかにして防ぐ？

日支遂に正面衝突か

宋哲元軍の參謀長　我特務機關員を拘禁

關東軍于學忠事件以上に重大視

一張一弛北支問題はその歸趨の豫測すら許されず世人の關心が北支に集注されてゐる時も時又復支那正規軍による我が某特務機關員の不法監禁事件が突發し于學忠事件以上の軍大事件としてその成行を注目されてゐるが關東軍では十一日午後三時四十分左の如き當局談を發表した

×

從來屢々排日侮日行爲を繰返しておつた宋哲元部隊は昨年十月二十六日いはゆる張北事件として松井、河口兩中佐および池田外務省書記生等一行八名に對する第三十二師の侮辱事件が惹起し爾後再び同樣事件を發生せしめないと誓つたに拘らず再び六月五日次の如き第二張北事件が起つて居つたといふことが昨十日に至つて判明した、關東軍は今回の事件を以て于學忠事件のそれ以上の非行と認めます、事件の內容は去る五月三十日の善隣協會のトラックで多倫を出發した某特務機關員大月桂、大井久、山本信親外一名計四名の消息が一時不明であつたが六日午後に至つて漸く張家口に到着した、それは旅行中張北において一日間支那軍隊のために不法監禁を受けたものであつた、一行は五日午後四時張北の南門において第百三十二師の衞兵に停車せしめられたので多倫機關の身分證明書を示したが斯くの如きものは無効だとてとり合はず第百三十二師司令に連行され次いで軍法所內禁兵室に投ぜられ荷物を全部檢査し更に物置に幽閉し相互の談話を禁じ青龍刀銃劍を擬する等脅迫を加へ食事、寢具を與へず六日午前十一時漸く釋放されたのであつた、右監禁は宋哲元の參謀長の命令によるもので訊問その他の侮辱行爲は軍法所長自らこれに當つたものであります

んとするもので何等の侵略的意圖を有するものではないのである

驅逐艦藤、蔦　居留民保護に

【天津十日發國通】萬一の事態に備へ居留民保護のため急遽旅順より派遣された第十五驅逐隊所屬驅逐艦藤、蔦の兩艦は今朝塘沽に到着した、同隊司令伊藤皎中佐、蔦艦長成富武光少佐、同機關長中山宋少佐の三士官は直ちに陸路天津着、駐屯軍、總領事館及び民團を訪問、今後の連絡に關し打合せをなしたが、右二艦は十一日午前七時塘沽出發白河を遡江し日本碼頭まで來り、租界警備の任に就く筈

憲兵第三團　撤退完了

【北平十日發國通】憲兵第三團は十日午前三時發臨時列車を最後に全部撤退完了、然し家族のみは南京に直行せしめ憲兵團は暫時昭德（河北河南省境）に駐在する

支那側官憲　電柱燒却事件の責任を認む

【楊村十日發國通】電柱修理工作にかゝるを待つ堂脇參謀は裝甲自動車を驅つて午後二時楊村に到着、直ちに公安局に赴き奧の一室にて才公安局長と會見、軍用電柱燒却の犯人に就て責任を問ひたる處全然關知せぬと逃げたが、更に強硬に突込んだところ遂に責任の一端を負ふとて右に關する詫書を書いた

一方楊村駐屯の第五十一軍、第百十八師部隊の張參謀長を招いたが、北平に赴き不在とて李參謀が副官を伴ひ現れたが同樣全然關知せぬとて責任回避の態度に出で斯くて李參謀、才局長をつれて現場に赴き更に質問したが、第百十八師、第六百五十二師の所爲なる事を確認せしめ責任書をとり午後八時無事司令部に歸還した

中央二、廿五　兩師令部　看板撤回

【北平十日發國通】中央第二廿五兩師令部は十日午後看板を撤回した

支那軍抵抗せば　斷乎膺懲せん

天津軍の決意固し

【天津十日發國通】北平、天津間の楊村附近で于學忠軍一部が我軍用線を切斷電柱を燒却した事は明白となつたので北支駐屯軍は十日午後二時戰車〇〇臺を現場へ急行せしめたが、支那軍が抵抗すれば斷乎膺懲の決意である、一方駐屯軍は于學忠の第五十一軍を三日以內に撤退せしめる樣嚴達した

新軍事協定締結企圖　有してゐない

＝軍中央部の意向＝

【東京國通】今回北支問題に關する日本在支駐在軍憲の要求に對し支那側は之を全面的に受諾に決し、事態は一先づ平靜に復するに至る模樣で、北支に一種の緩衝地帶の如きものゝ出現が要望されてゐるが、然し乍ら今後の對策に關し日本軍と北支政權との間に新に一種の軍事協定を締結し將來の保障を確立することゝなるべしとの報道が一部にあるに對し陸軍中央部では次の如く觀てゐる

一、北支に對する日本側の意思は最初から言明してゐる通り現地に於ける排日反滿的行動の絕滅にあり、支那側が之に聽從するならば同方面は平和境となり、殊更に新軍事協定を締結するが如き企圖は全然有してゐない

一、一部には北支現政權に代る親日新政權の樹立運動が誕生しつゝある如く傳へてゐる向もあるが、北支に於て南京政府の實力代辯機關が一掃される結果を從來南京政府に遠慮して中立態度を持し來つた閻錫山、韓復渠等の地方實力者が次第に實力を扶殖するに至り終局に於ては形骸のみに止まる南京政府の代辯機關に代り新なる政權となるであらう事は見易きところであらう

一、要するに日本側としては口に親善を稱へつゝある南京政府が親日政策の一をも爲さず排日態度に終始しつゝある事實に鑑み北支に於て先づ斯かる南京政府の排日機關を徹底的に排除し、以て地方住民を塗炭の苦しみより救ふと同時に日本との經濟的提携に協力せしめ

南軍司令官

日滿要路に北支時局決意宣明

南關東軍司令官は十一日午前十時四十五分ハイラル部隊の檢閲を終り、飛行機で歸京、直ちに軍司令部に登廳、西尾參謀長から北支の情勢並に軍の對策等につき報告を受け更に西尾、板垣正副參謀長以下各部長、岩佐憲兵隊司令官、谷、守屋兩大使館參事官、大野關東局總長、武部司政部長、長岡總務廳長、筑紫參議、入江宮內府次長、八田滿鐵副總裁等を集め北支時局の重大性と軍のとれる對策を說明し、軍の確固たる決意の存する所以を明かにし、將來の覺悟に言及し、各員の自重を要望する所あつた

エチオピヤの國境の　英國在留民引揚げ　軍事行動を懸念して

【ロンドン十日發國通】エチオピヤ國境紛爭は和協委員會の審議とは獨立に依然兼氣味な緊迫狀態を示しつゝあり、英國政府はアジスアベバ駐剳公使並にローマ駐剳大使からの報告を基礎に大体七月末の梅雨明けと共に國境線上に一大軍事行動が起るのではないかと懸念してゐる情勢の急迫に英國政府は自國民をエチオピヤから引揚げる方針を決定した模樣で既にフランス政府その他關係各國政府との間にエチオピヤ在留民保護に關し打合せを開始したと確聞する尤も過般聯盟理事會の場合と同樣最後の土壇場に於てムッソリーニ首相が折れる可能性もない譯でないがイタリー新聞界が筆を揃へて英國政府攻擊を開始した事實あり、形勢注目されてゐる

滿洲國側に提示された　治法撤廢根本方針

康德八年に撤廢完了

【新京】治外法權の撤廢に關しては目下日滿兩當局に於て愼重議を續つてゐるがその撤廢樣式については既報の通り法權の二作用を分離し先づ行政的方面に於ける調整を促進し次いで領事裁判權に及ぶ根本義の決定を見てゐる、この根本方針に基づき行政的方面に於ける課稅法規並に產業關係法令の整備が目下滿洲國側に於て着々進行を見てゐるが日本側關より滿洲國側に示された法權撤廢に關する根本方針は大要左の如きものと仄聞する

一、先づ或る程度の滿洲國課稅權の行使を承認すること

稅率の決定については日本人に急激なる負擔の增加を來さゞる樣考慮すべきこと

一、附屬地行政權の問題には差當り觸れざるも課稅權行使の結果は自然或る程度迄の附屬地制度の解消となるべし

一、稅制警察及び司法施設を相當年間に完備すること

一、領事裁判權の完全なる撤廢は大体康德八年とすること

一、課稅の如きは從來よりも默認の形式により課稅權を容認してゐたが今後すべて條約の改廢により行ふ

第四次滿洲里會議　回訓到着を待つて　十四日再開せん

【滿洲里國通】滿洲里會議第四次會は十日開會の豫定の處外蒙側の回訓未着のため延期のやむなきに至つたが其後滿蒙兩代表部打合せの結果外蒙側の回訓到着さへすれば第四次正式會議は十四日開催することになつた、外蒙の回訓は如何に遲くも十四日迄には到着するであらう

赤軍不法にも越境射擊　日本兵應戰擊退

【東京國通】六月三日滿ソ東部國境密山の西南楊木林子に於ける日ソ兩國兵の衝突事件に關し駐日ソ聯大使館參事官ライビット氏は十日外務省に東郷歐亞局長を訪問し同日赤軍若干名が日本兵に拉致されたとの理由の下に身柄引渡しの抗議を提出したが外務當局は十一日正午同事件に關し左の如き當局談を試み、事件の眞相を闡明した

南駐滿大使よりの公報によれば日本守備隊斥候十數名が國境警備の爲行進中突如滿洲國內に侵入し居りたる赤軍より不法にも射擊を蒙つた、よつて日本軍は止むなく應戰これを國境線外に擊退したが赤軍はその際滿洲國境線內二米の地點にある山腹に二頭の馬を遺棄し且つ重傷兵一名（後に死亡）を遺棄し去つた、右により明白の如く事件は終始滿洲國內で惹起したものであり且つ日本軍の應戰は全然正當防衞に出たものである、依つて五日ハルピン特務機關長はハルピン駐剳ソ聯領事ステリマフ氏に對し赤軍の不當越境並びに射擊事件に抗議を發したがステリマフ領事は報告未着を理由として回答を留保してゐる、外務當局は此の點を指摘しソ聯側の抗議の理由なきを反駁したが同問題は一切現地に於いて調査交渉の上近く適正なる解決策が講ぜらるべくその旨南駐滿大使に傳へた

丁公使　謁見を賜る

十日外交部、國務院、日本大使館、軍司令部等に歸國挨拶を爲した前駐日公使丁士源氏は十一日午前中參議府、財政部大臣、宮內府大臣、臧前首相等を歷訪挨拶する處あつたが、午後五時より宮內府に參入、皇帝陛下に謁見を賜つた

海軍辭令

【東京國通】

海軍燃料廠製油部長　細谷信三郎

仰付軍令部出仕兼海軍省出仕　佐世保軍需部第二課長　別府良三

仰付海軍燃料廠製油部長　扶桑機關長　機關中佐　黑原退藏

仰付佐世保軍需部第二課長　鳥海機關長　機關中佐　時任茂樹

仰付扶桑機關長

軍令部出仕兼海軍省出仕　海軍大學校敎官　機關中佐　稲地英男

仰付鳥海機關長

信話

防空演習第一日は絕好の演習日和に惠まれて各防護團の意氣更に揚り、實戰宛ら到るところ目覺ましい活躍振りに感激させられた▼軍事專門家ならぬ吾々には今度の演習の成功か否かは輕々しく獨斷する譯にはゆかないが、しかし防護團員のあの眞劍な態度は賞讃に値するもの▼殊に日滿一休五族協和の精神をそのまゝに、到るところ演習をめぐる佳話が續出、これこそ今度の演習の何よりの收穫だと思ふ敵軍敢て恐るゝに足らず要は吾々全市民の一致協力によつてのみ防衞の眞目的が難なく成し遂げられるのだ▼基本演習はかくして終了し、けふから應用演習に入る、全市民の精神的總動員によつて吾々は實戰同樣最後まで頑張つて見やう

航空往來

▲川崎軍治氏（無職）十一日午前八時二十分發ハルピンへ
▲尾花勇氏（官吏）同
▲長岡卯江氏（無職）同
▲今吉清藏氏（會社員）同北安鎭まで
▲小川少佐（關東軍測量隊）十一日午前十一時十五分發奉天へ
▲木野範一氏（大連機械商）十一日ハルピンより來京
▲森田成之氏（交通部路政司長）同
▲清水辰三郎氏（大連機械商）同
▲鮫島宗壓氏（官吏）十一日午後奉天より來京
▲近藤佳行氏（奉天官吏）十一日午後ハルピンより
▲三谷滿氏（奉天官吏）同
▲吉武正男氏（滿鐵社員）同
▲江原綱一氏（官吏）同

商況欄（六月十一日後場）

金銀市況

●上海標金　寄付 七七一、九〇　引 七七〇、五〇
●大連金鈔票　現物 一三六、五五　寄 一三六、六〇
●大連鈔票銀大洋　現物 一〇〇、〇〇　一〇〇、六〇
●奉天國幣對金票　六月十三日限　寄付 一〇四、一〇　引 一〇四、一〇

[illegible]

爲替相場

▲上海爲替　▲日本向　第一回賣買 一四一、五〇〇　第二回賣買 一四二、〇〇〇　第三回賣買 ＝
▲倫敦向　第一回賣買 一志二片 一六分 〇〇〇　[illegible]

▲大連爲替　▲上海向　一二六、〇〇　一二三、〇〇（以下 [illegible]）
▲紐育向　第一回賣買 四〇弗一六分一五　一弗一六分一　第二回賣買 ＝　第三回賣買 ＝

▲營口向　一一三、〇〇　一一三、〇〇 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回賣買 不變
▲阪神日英爲替　第一回賣買 不變

株式相場

▲大連株式（短期）　寄 / 引

銘柄	寄	引
五品	一二七、一〇	一二七、二〇
豆新	三二、七〇	—
鈔新	二〇、三〇	—
東新	一五九、七〇	一四二、三〇
日産新	一六、八〇	一七、七〇
鐵新	一九、〇〇	—
満新	六一、七〇	—
二新	三五、八〇	—

▲奉天株式（短期）　[illegible]

銘柄	寄	引
東見	一五九、九〇	一四二、四〇
鐘新	一二九、〇〇	一二九、八〇
日新	一六、七〇	一七、七〇
大品	八九、三〇	八九、八〇
五新	一七、三〇	—
豆甲	二二、八〇	—
電乙	一五、八〇	一五、八〇
同新	一三、三〇	一三、三〇
滿拓	六二、八〇	六二、八〇
二亞	二五、九〇	二五、九〇
東當	八、八〇	八、八〇
日興	二七、七〇	二七、八〇
滿毛	六〇、九〇	九一、一〇
滿毛	一五、七〇	一五、七〇
優先	一四、四〇	一四、四〇

[illegible]

特產市況

●大連大豆　袋込 六月限・七月限・八月限・九月限・十月限
●同 豆粕　現物・六月限・七月限・八月限・九月限・十月限
●同 豆油　現物・六月限・七月限・八月限・九月限・十月限
●同 高粱　現物・六月限・七月限・八月限・九月限・十月限
●哈爾濱大豆　六月限・七月限・八月限
●同 小麥　六月限・七月限・八月限

[illegible]

新京取引所市況（六月十一日後場）

●大豆　現物（一石値段）
定期（混合百斤値段）　寄　引　出來高
現物　六月限・七月限・八月限・九月限
●高粱　現物・六月限・七月限・八月限・九月限・十月限
●鈔票對金票　十三日限　二十八日限
●國幣對鈔票　十三日限　二十八日限

[illegible]

手形交換（十一日）

金票 [illegible]　鈔票 八枚　國幣 [illegible]

北滿

濱綏線沿線の樹木伐採に決定
匪賊の蠢動期に備へて
調査團現地に出發

【ハルビン國通】從來鐵道沿線千米以內には治安上農作物の栽培を禁止せられて居たが最近匪賊の最盛期が近づくと共に濱綏線沿線兩側の樹木伐採說が各方面に擡頭し日滿關係機關に夫々協議が重ねられて居たが、今回濱綏線鐵道兩側各二百五十米、道路兩側百米以內の樹木を伐採することに決定、之が調査の爲十日午前六時ハルビン臨時列車で濱江省公署警務廳八木理事官、牧野農務科長其他實業部、ハルビン鐵路局、守備隊より關係者が沿線視察の爲綏芬河に向ひ出發した、一行は十日横道河子に一泊、十一日綏芬河に到着、詳細實地調査を爲して報告書を作成、之に基き直ちに必要なる地點より伐採に着手せられる筈で濱江省公署が直接伐採の實行監督に當ることになつてゐる

上りはすれど下らぬ家賃
寧ろ空屋にして置かうと
金持は强いです

【ハルビン發】キタイスカヤ筋商店街の家賃は舊北鐵從業員歸國後、經營難に陷れる露人商店の閉店又は縮少に伴ひ全般的に下落すべしと觀測され更に地權及び家屋賣物も續出するものと豫想されてゐたところ最近に至り事實はこれを裏切り小店舖の家主等は將來の活況を見越して借家人に一割乃至二割宛ぢりぢりと引上げんとする傾向あり今後に於ける家賃の値下り及び地權及び賣物續出も望み薄と見られるに至つた、即ちこの一例として在哈屈指の資產家猶太人オークユの所有で接收後空家となつてゐるキタイスカヤと中國九道街角の舊北鐵旅行社跡(家賃一ケ月三百圓)及び本年一月怪火事件を惹起した樂器店ムレヂス(同四百圓)とアメリカン劇場前の二軒(同二百圓)合計四軒は空家となると同時に接收後の哈市の發展を見越して來哈した資本家が續々目白押しに押しかけてオークニと交渉したところ『家賃を引下げる樣だつたら一年でも二年でも空家として居た方がよい自分としてはびた一文も引く事は出來ない』と突つ張つて居り此外カスペその他の資產家も家賃を固定收入としてゐると言へ既に確固たる經濟基礎を有してゐるので自己所有の家屋が少々空家となつても何等痛痒を感ぜぬと言ふ連中が多く從つて地權及び家屋の賣物等の動きは火の消えた樣な閑散振りで接收當時より暗躍してゐたブローカー連も當て外れの態である、更に露人商店も當初は蘇聯人歸國後天津、上海方面轉出又は閉店するものとされてゐたが最近に至り出來るだけ業務を縮少して日本人相手に轉向を企て飽まで維持せんとして種々對策を練つてゐるので豫想された閉店續出も期待されぬ現狀にあり、これがためキタイスカヤ筋の店舖は遠からずモストワヤ、地段地一帶及び秋林で行はれてゐる如く權利金付で賃貸されるものと見られてゐる

哈市電燈料の値下運動起る
確實に三倍高い!

【ハルビン支局發】哈爾濱に於ける電燈及び電動力使用料金は南滿各地に比して高率であるとの非難があつたが一般需要家側より之が引下げ要望益々熾烈となり遂に日本商工會議所を動かして哈市電業局の現適用料金制度を根本的に改正し南滿並みの引下げを目指して猛運動を開始せんとする機運漸次濃厚化しつゝあり成行き注目されてゐる

試みに定額電燈料金を對比すれば左の如し

電球容量　一燈一ケ月に付	南滿各地	哈爾濱
二十ワット	四十二錢	一圓四十錢
三十ワット	五十三錢	一圓八十錢
四十ワット	六十三錢	二圓十錢
六十ワット	八十四錢	三圓
百ワット	一圓二十六錢	五圓十錢
二百ワット	二圓三十錢	七圓二十錢

でいづれも三倍强の負擔加重を余儀なくされて居る、斯くては哈爾濱工業界の振興、一般市民の負擔輕減の見地から見ても甚だ遺憾であるとし商工會議所より適當の意志表示をなすものと見られる

＝哈爾濱電業局の辯＝

哈爾濱の電燈、動力料金が高いといふことは事實である、豫てより監督官廳たる實業部との間に種々協議の結果、康德六年度までに全滿的に料金の合理的引下げをすることに決定してゐる當地においても一日も早く値下げが出來るやうに努力中だが遲くとも本年末までには實現出來る筈だ、目下調査員を十一班に分けて實情調査を去る三月から開始してゐる、この結果屆の電燈數、動力實馬力が判明するから之を基礎として料金の合理的引下げをなしたいと思ふ之と並行して電業局それ自体の發電單價の低下を圖り設備の增設などあらゆる部門の基礎的調査をとげてゐるから確實な數字が出ればこれを基礎として料金の低下も圖り得るであらう

東滿

馬車、洋車夫等の指紋を採取
各種犯罪防止の一策として
吉林警務廳の試み

【吉林支局發】當地警務廳司法科指紋係に於ては各種犯罪事件の豫防の一策として省城にある洋車人、馬車夫、苦力等約三千余名に亘つて之等の指紋を採取することゝなり六月五日から着手したが之れが效果に多大の期待をかけられて居る

南陽驛列車時間改正

【圖們國通】對岸北鮮線南陽驛に於る雄基方面との列車運轉時間に今回一部改正が左の如く實施された

一、南陽發午後六時十分雄基行第一列車は南陽雄基間の運轉取消となり

二、雄基より南陽到着、南陽發午前零時卅二分圖們行第二四列車も雄基圖們間の運轉取消とす

三、南陽發午後二時卅分雄基行の第二三列車の南陽發は午後三時四十四分に改められた

脫獄四人
逃走追擊中

【延吉國通】八日脫獄せる四人のうち現在までに逮捕されたるもの十八名、射殺されたるもの五名で殘餘の廿三名は延吉縣第五區樺尖子東方三十餘里長筒溝に向つて逃走中であり、縣指導官の指揮する警察隊が追擊中であるが匪賊と合流の虞れあり憂慮されてゐる

南滿

各機關合同の全滿農作物調查
愈よ七月一日より着手

【安東國通】昨年度第一回を執行して素晴らしい成績を擧げた滿鐵農務課、鐵路總局、滿洲國實業部、滿鐵經濟調查會合同に依る全滿農作物作柄及び出廻り狀況調查は今年も第二回を行ふこととなりその第一次調查を七月一日着手と決定した、安東では南滿の第五班に編入され鳳城縣と安東縣が區域で調查は鳳城縣、安東縣の各縣公署技術者、安東地方事務所勸業係、安東驛貨物合同で作柄と出廻り及び農家の一戶當り作物消費量も調查する筈で農作物は全般に亘つて細密に行ふと尙第二次調查は九月一日、第三次は十二月一日で來春二月一日に行ふ第四次調查で全部終了する筈である

沈沒の海平號
爆破撤去

【營口國通】昨年十月三十一日營口港內石炭棧橋附近に於て沈沒して海昌公司所有船海平號(一千五百噸)は航行の妨害となる爲營口航政局の斡旋により漸く船主と廣島縣木野江商會との間に契約成立し爆破方法を以て沈沒船を撤去するに決し近く着工の豫定

淸水氏縣葬
嚴かに執行さる

【安東國通】既報湯山城南方地點に於て壯烈な戰死を遂げた安東縣警務指導官淸水氏の縣葬は九日午後三時半縣立第三小學校に於て日滿官民多數參列の上嚴かに執行された

阿片の專賣制度に就て(上)

滿洲國に於て現在專賣總署が所管して居りまする專賣は、既に皆樣御承知の如く阿片と最近加りました煤油類でありますが、此の二つの專賣は何れも性質上財政收入を主目的とする所謂財政專賣ではなくて社會政策的の性質を帶びたる所謂公益專賣でありまして之を判り易く云へば政府が儲ける爲の專賣事業ではなくて之を政府が手を付けずに放置して置くことは國家として種々の點より不合理である爲に之を

統制 する爲の專賣なのであります、即阿片專賣及煤油專賣が共に決して財政收入を目的とする專賣でないことを最初に充分御理解下さらんことを御願申上げます、今此の二種の專賣について其の概略を御話申上げますと第一に阿片專賣でありますが、阿片專賣は大同元年十一月發布されました阿片法を基礎と致しまして越えて大同二年一月十一日之が專賣を實施しまして現在に至つた譯であります、而してこの阿片專賣に依つて今まで無統制に放任されてゐた所を阿片の生產

消費 統制縮少せんとする爲のものに他ならないのであります、即此の滿洲國から惡い阿片吸飮の患習を一掃すると共に新しい阿片患者の發生を防止し現存する患者を漸次絕滅せしむることを目的としその具体的な實行手段の一として專賣制度を利用した譯であります如上の意味より專賣制度を以て阿片吸飮絕滅の大目的を達成するには阿片を吸飮するものは全て官土を吸飮する樣に仕向けて一切の阿片患者を專賣の網の中に包容する事が第一要件でありまして其の後之を

適當 に統制縮滅することに依つて患者を漸減して行かうといふのでありまして此の意味より現在政府としては極力阿片患者が私土を使用せずに官土を用ひる樣に努力してゐる次第であります、かゝる次第でありますから阿片吸煙の惡風に感染されて既に阿片吸飮を救療上必要とするものは、警察に其旨を申請し警察より吸煙許可證の下付を受け官許零賣所より阿片を購入することとし決して民間に散在する私土を購入することの無い樣に希望致します

私土 を買ふものがなければ私土密賣者は影をひそめ、私土賣買がなくなれば政府の阿片統制が完全に行はれ、皆樣の滿洲國が眞に王道國家として相應しく阿片害のない朗かな國になる日が來るのであります此點充分の御理解を以て政府の阿片事業に御協力あらんことを御願する次第であります、次に阿片專賣の現況に就て二三御注意申上げて置き度いと思ひます、阿片專賣の眞意義に就ては前に申上げた樣に阿片吸飮の風習絕滅の爲でありますが、此の

目的 を達するには、先づ阿片の栽培を統制し、供給の源泉を政府でしつかりと抑える必要があります、この阿片栽培は政府としても現在では極力地域を縮少し生產阿片は之が他に流れるを防止して全て之を政府の手に收納することを主なる目標として努力してゐる次第でありまして最近におきましては、政府の許可せざる地域に於ては密培も殆んど跡を絕つ樣になりましたが今後とも一層の取締の徹底に盡力し度いと考へて居ります、又販賣に於きましては昨年來私土取締の徹底、官の專賣制度に對する民衆の

理解 と相俟つて漸く官土を利用するもの多きを數え漸次民間に潛行する私土は影をひそめつつあります

トラホームはどうして起るか（中）

一番怖しい惡性の眼病です
治療は出來るだけ早く

滿鐵新京醫院眼科醫長　喜早圭吾博士談

一般の人は、結膜に出來る顆粒（俗にいふブツブツ）がトラホームであつて、手術によつてこの顆粒を除いてしまへば、トラホームは癒つてしまふと考へて居る樣でありますが、それは大きな間違ひであります、もう一度申しますと、トラホームといふものは

結膜下組織内に

一種の肉芽性炎症、即ち極く慢性に肉芽組織の増殖を來す疾患であつて、こういふ變化が起る事は顆粒發生に極めて都合がよいために、顆粒が出來るに過ぎない、顆粒形成は寧ろトラホームに對しては無意味なものと考へてよいのであります

角膜（黒目）は、眼の内で一番大事な所であり、非常にデリケートに出來て居ります、極く小々な芥が眼の中に這入つても痛くて眼が開けられない事でも判りませう、結膜はこのデリケートな角膜を

保護する器官で

ありますから、非常に柔いといふ事が、その生命であります、故に假令その部にトラホームがあつても、これを剝ぎ取つてしまふ事は絶對に出來ません、トラホームが手術をしても仲々癒らない理由はこゝにもあるのであります

すべて、肉芽組織は瘢痕を形成して治癒するものであります、重篤な火傷の跡が瘢痕になつてるのを御存知でせうが、トラホームも矢張りあれと同じ運命を辿るのであります

トラホームは最初は結膜の一局所に始まるのでありますがそれが極めて徐々に進行して病竈が次第に擴大し、更に球結膜（俗に白目）から角膜（黒目）にも進んで行く、又

眼瞼の深部に

進んで瞼軟骨（瞼の形を整へるもの）を犯し瞼が次第に厚くなります、一方ではトラホーム病變が瘢痕を形成して癒つて行く、かくして全結膜が全く瘢痕化してしまつた時が即ちトラホームが癒つた時であります、然しこうなると、結膜のトラホームは癒つても大事な角膜が、その儘では居りません、通常この時期に達するには感染後數年乃至十數年を要します

トラホームの經過中いろいろな合併症が起ります、トラホーム病變が球結膜から角膜（黒目）に侵入して行きますとこゝにトラホームパンヌス、俗にいふ

翳り物を生じ

角膜が濁しますので視力が著しく低下します、又角膜に潰瘍（キズ）を造る、俗に目星といふのはこれであります、以上の二つ共、癒つた跡は瘢痕となり、角膜が白く濁つてしまふ、この濁りが厚く廣い時には全く物が視えなくなる場合もあるわけです

瞼軟骨（瞼の中にあつて、瞼の形を保つて居るもの）の瘢痕形成が強く起れば、瞼そのものが内方に彎曲し、瞼の縁が強く角膜を壓迫します、又瘢痕形成が睫毛の根元に出來れば

睫毛の列びが

亂れ、内方に向つて睫毛は角膜を刺創する事になります、前者を眼瞼内飜症、後者を睫毛亂生症と名付けますが、この二つも亦角膜潰瘍の原となります

恐ろしい…疫痢の手當

感染したら隔離して
心臓に氷嚢を

疫痢はコレラに似た最も恐ろしい病氣で、梅雨頃から夏へかけて多く起り、早いものは一晝夜の中に命をとられてしまひます、そして四五才から七才位までの子供に最も多い、其の原因はある黴菌が腸を侵すのでありますが其誘因となるものは食物です、殊に生の果物から起る場合が最も多い、其の外枝豆、鹽煎餅等からも起る事があります、そして疫痢の兆候は

發熱前に

必らず睡眠を催す事です、從つて日頃晝寢しない子供が非常に眠がつて、すやすやと寢入り、それが醒めると下痢を始めて、青色或ひは黒色を帶びた鼻汁の樣な粘液の排泄物を出します、そして痙攣を起して意識が不明瞭になつて來ますが、下痢の回數が多いからといつて必ずしも病狀が重いとはいへません、重患の際は却つて下痢の回數が少くて、直に心臓を侵されてしまひますそして病兒の唇が紫色に變つて嘔吐を催す樣でしたら、よほどの重態と思はなければなりません、熱は卅九度から昇つて手足が冷たく

四十度に

なりますが、熱が翌日になつても下らなくても下痢の回數がなくなつたら、まづ命は大丈夫で、おひおひに熱も下つて來ます、また子供が疫痢に罹つたら直ぐ家族と隔離して安靜にし、頭部を氷嚢で冷し醫師の指圖を待つて心臓部左の乳の下にも氷嚢をあてます喉の渇く時には湯、番茶、葛湯、重湯等を時々與へます、そして熱も下つて、下痢も止まり、便が固くなつて來たらもう心配はありませんが、なは食物には

充分注意

してパン、ビスケット、粥、輕燒等の樣な極めて消化のよい輕いものを與へて消化の良否を檢査し、異狀がなくて段々便が固まつて來たら普通食を與へる事にします下痢をすると大抵の素人は直ぐ下痢止めの工夫をしますが疫痢の場合は下痢を止めるよりも、むしろ蓖麻子油の樣な下劑を用ひて腸内の毒物を一時も早く下してしまふ事が肝腎です

誰方にも出來る　美顔マッサーヂ

生々した頬になります

頬 を美しくするにはコールドクリームをつけたあとを、兩掌の凹んだところで、頬を下から上へ外に向つて圓を描くやうに五六回撫でまはしたら、前方にすつと離して、鼻の前あたりで拜むやうにすり合せ、その勢を利用して再び頬に掌をあて前と同樣にマッサージをしこれを五六度繰返します、毎日行つてゐると血行をよくし、赤味がさして來、肉もふくよかになつて美しい頬になります

口 許を美しくする時も同樣に、コールドクリームをつけてから、先づ鼻の傍から口許へかけてつき易い縱の皺を消すために、口の側から上に向つて中指の先の腹で、外側に螺旋を描くやうにしてマッサージします、次に鼻の下に中指と拇指をひろげてあてその兩指を中央へよせるやうにして、かるくマッサージをし、更に顎のたるみを防ぐために、先づ右手の食指と中指で顎を挾むやうにしながら外側へマッサージし、次に左手の指で同樣にし、交互に繰返します、以上を各十回宛繰返し、なほ唇も中指で輕く螺旋形にマッサージします

案外知らぬ　履物の知識

選ぶ時の注意

江戸つ子と履物は昔から有名なもので、着物はボロでも褌と下駄は新しいのを着用するのが自慢であつたのです、今もどつちかと云へば關西人よりも東京の人は

◇**履物** には神經質であります、まづ草履の選び方を申しませう、草履は、フエルトを使つたものが多く、このフエルトの見分け方が必要かと思ひます、フエルトと再生品フエルトの二つがありまして、これは余程買ふ時に注意しなければなりません、純毛フエルトは横からいぢつてみて剝がれませんが、再生品は綿が入つてゐますから剝がれ易いのです、色は、純毛は黒い

◇**斑點** があり、再生品にはありません

純毛フエルトは非常にもちが宜しいのですが、再生品になると履物として堪へられません、ですから、第一にフエルトをお求めになる時は、純毛か、再生品かを見る事です、キルクの良品は地中海のバルカン半島から出るのが最も好いのですが、概して良質の物はブツブツがなくて、少し赤味がかつた、ブの揃つたものが好いのです、表は南部表とシユロの二通りあります、

◇**南部** は何の皮、現今では支那から輸入されたものであります、南部は、キメが細かくて、皮そのものに脂氣があり、艶も何となく、底艶がありますが、シユロの方は、キメが荒くて、上部ばかりに艶があり、脂氣がありません、パナマは台灣パナマが一番上等で、これには手編みと、機械で色んな模樣を編んだのとあります手編みは、番人が手で編んだもので、機械編みよりも丈夫です、次に下駄は

◇**總じ** て南部桐と云はれたものですが最近の南部桐は質が軟かいので減り易いのです、ですから、今は會津桐が一等です、これは長持ちします、見分け方は會津桐はやや重みのあるのをお選びになれば宜しい、よく桐は輕い程好いと云ふ方が今でも却々多いやうですが、どうしてそれは大變な間違ひです

茶の湯

心の邪念を去り　精神を統一する

―特に若い女性に―

此の頃茶道が大變隆盛になつて參りました、お稽古なさるとして先づ第一に、申したいことは、一度でも多く釜の前に坐るといふことです

釜の前 に坐つて無我の境に入ることが出來るまでになれば茶道の精神を體得出來たといふことになります、稽古の順序としては小習ひ、茶通箱、唐物、天目、盆天、行の台、眞の台と進むので、眞の台子迄行つたら又元に歸つて、もう一度磨きをかけてはじめて自分のものになるのです、こゝまで來るには、無缺席で勉强して三年はかゝります、一体初めに習ひ出すものは、皆難しい眞の台子を分解したもので、これを段々に習つて行つて、眞の

台子に 行つて初めて今まで何を習つたか分るのであります、お稽古を始める年齡は、昔はなるべく小さい時からといふことがいはれてゐましたが、動作の活潑を望む子供時代からでは、余り早過ぎると思ひます、せいぜい十五六才位からが最もよく、お嫁入り前のお孃さん方には、是非お稽古をなさることをおすすめします

朗らか小父さん

1. コレヲ御覧オモチロイ父サンダロウ
ワーン

2. 坊ハコレガ好キナンダ
サア此帽子ヲカブツテ太鼓ヲタタイテヤツテヨ

3. テケテケドンドン、テケドンドン、テケテケドン

4. オレガ手傳ツテ玩具ヲ有リツタケ持ツテクルカナ

ツヅク

青年學校後援會　改正規約案

新京青年訓練所は五月末限廢止せられ青年訓練所實業補習學校を統合した青年學校が開設され、既報新京青年訓練所後援會を其儘新京青年學校後援會に變更するに就て役員會に

總會に諮るべきであるが防空演習等で多忙を極め十二日迄に文書で會員の意見を求めることゝなつた屆出は新京青年學校事務室諮内二郎宛、因に多少改變された後援會規約案は左の通りである

新京青年學校後援會規約案

第一條　本會は新京青年學校後援會と稱し、事務所を新京青年學校（電話公衆二〇二一番、祉内一三三番）に置く

第二條　本會は青年學校の目的を達成する爲め適當なる援助を爲す

第三條　本會の事業左の如し

イ、青年學校開設趣旨の宣傳、普及、徹底

ロ、生徒入校の勸誘並に出席の督勵

ハ、生徒の經濟的負擔の輕減、補助

ニ、其の他本會の目的達成に必要なる事項

第四條　本會の趣旨に贊同せる士を以て會員とす

第五條　本會に左の役員を置く

會長一名、副會長一名、評議員若干名、幹事若干名、

會長は會員の推戴とし會務を總理す

副會長は會員の推薦とし、會長事故ある時は代つて會務を總理す

評議員は會長之を委囑し、會の重要事項を評議す

幹事は評議員中より會長之を委囑し本會の事務を司る

幹事の任期は一ケ年とす

第六條　本會の經費は會費及寄附金を以て之に充つ

會員は會費年額金一圓也を納むるものとす

收支豫算及決算は評議員會の協贊を經て毎年度始めに會員に報告するものとす

會計年度は其の年四月一日に始まり翌年三月廿一日に終る

學藝

油繪の表現と日本風俗（三）

この頃よく見る夏の浴衣を着た涼み女を見るが、それは日本傳來の良き畫題である。浴衣の模樣も、その角ばつた直線も、これまでの油繪の描法ではその面白さは寫し難い點がある、之には種々の理由がある。例として蔭をつける事、油繪のねつこい感じと味涼のある書題との實感性の相異である又直寫から起る合理的でありつつ不合理の美を要求してゐる、由來直寫生と謂ふ事は自然研究には好い事に遊ひないがそれだけでは理想を要求する事が出來がたい、例へばことに納涼の人達が五六人立つて居ると假定する

昔の錦畫を見ると、橋の欄干に都合よく美ぞろいで立つて、月なり夜景を眺めてゐる、そしてその納涼に適した興味を加へた服装が畫間と同じ樣に描かれてゐる、處が油繪になると假黑ろになる、そして背景も夜の涼みを表象したものとばかりはゆかぬ、それは直寫生に原因してゐる、處がその日本の模樣なるものは近づいてよく見て面白い織工の美がある、髷に於ても、その飾りものにしても近づいて見て美しい、日本畫に於ては遠くの見えないものも、畫面の效果となるものは皆表はす、洋畫は全体の調子に於てまるで消される。で洋畫は或意味で完全の爲め不自由を感ずる、こんな事から日本の風俗が面白く描けない、それで私の考へでは此の明暗の調子を自由にして、美の印象を得る爲に、自由に面白さを逃さない樣にしたいと思ふ、所がそれが實際上にぶつかると甚だ六ケ敷い所で、畢に頭で考へてゐるといいのだが實際畫面に臨むと困る

自然の氣息調子を一つづすと、洋畫は畫面が變にになつてしまふ、油繪に於ては全面の畫布を塗抹せねばならない爲にバックと中心のものの遠近なり、バリュを得る强みがあると共に、面白くない背景も直寫の時はいやでも描かねばならぬ、日本畫の樣に面白くないものは悉く無くする樣に都合よく行かない、日本畫は興味で始終してゐるが油繪は、興味と共に寫眞の如く合理的に從はねばならぬ、從つて興味だけでやつてゐると嫌になる事が澤山ある（完）（正宗得三郎）

防空講座　燈火管制と警報に就て　—第二十二講—（完）

警報傳達の手段

上述の樣に駐在所、派出所郵便局、驛、發電所、變電所に傳へられた空襲警報は更にサイレン、汽笛、電燈點滅打上花火等に依て一般に傳へられる、從來は警鐘も使用して居つたが、最近では市内に於て絶對に警鐘を使用することが出來ない樣になつた、サイレンは警報傳達手段として最も適當なものである、此サイレンは都市内に適當の距離間隔に配置し、且一箇所から吹鳴操作の出來ることが絶對的に必要である

尚統一した系統内にある防空用大型サイレンでも其土地の地形、氣象、建物、交通狀態等の關係に依つてサイレンの音が傳はらない場所が出來る、其樣な處には手廻サイレンを載せた自動三輪車又は蓄電池を電源とする極小型モーターサイレンを持つた自轉車を走らせて空襲警報を傳へると非常に有效である

戰時燈火管制を完全に實施する爲には各種の施設と十分なる訓練とを要するのである燈火管制上必要なる施設即ち配電線の整理、街路燈、信號燈の改繕等各種の問題があるが十分なる調査と研究とに俟たなければ輕々に論ずることは出來ない

次に燈火管制の訓練であるが歐洲大戰中巴里に在住せる人の話を聞くと、警戒管制の實施に慣れるまで一箇月餘を要したといふことである、防空演習で數回訓練した位では十分とは謂ひ得ない、是非年一度位でなく數多く燈火管制のみの訓練を地域的に實施し以て他日に備へることが必要である

鐵道の燈火管制

鐵道の諸施設殊に停車場は歐洲戰爭の際屢々爆撃を受けて可なりの被害を受けてゐる

蓋し鐵道を破壊することに依り輸送力を減少し延いては敵國の戰闘力を著しく減殺し得るからである、此見地から開戰直後直に爆撃を受くる虞が十分ある、又鐵道は各種燈火を有し且つ其燈火は鐵道線路に沿ひ配列せられて居つて一般燈火と甚だ異なつた狀況を呈し、平時に於ても絶好の飛行目標とせらて居るのである

故に鐵道關係の燈火は十分なる管制をせられなければならない、然るに鐵道は燈火管制に依る當然の結果として輸送力の減少と危險發生の虞があるから、其實施に當りては完全なる施設と綿密なる計畫及周到なる注意が必要である、過去の防空演習に於ては實施者に於て管制法の細部を決定した關係上、その結果は餘りに實狀に適せざるものがあつたが、各地防空演習に於ては、燈火管制規定細則に依り可なり細部に亘り規定せられ、本細則通り實施するも完分とは謂得ないが、相當管制の目的を達し得るのである

燈火管制下の輸送力

警戒管制時に於ては運轉に必要なる燈火は大部分殘置し得るから輸送に及ぼす影響は先づないと謂つて良い、然しながら非常管制時に於ては總ての燈火が完全に管制せられるから、運轉上非常なる支障を受けるのである、若し適當なる處置を講ぜざれば自動閉塞信號機を使用する區間に於ては殆ど運轉不可能となる

短距離の電氣鐵道に於ては非常管制中運轉を停止するも管制時間は普通短少であるから、其の影響するところ僅少であるが、國内交通の幹線に密接なる關係を有する支線は縱ひ短時間と雖其影響するところが大である若し非常管制に於ける處置に對する準備訓練が出來てゐない時は、著しく輸送力を減少し且重大たる危險に直面するであらう

而して非常管制に於て幾何の輸送力を減ずるかは專門家の研究に待たなければならないが、運轉方式の變更、驛停車時間の增加、接續驛に於ける操車時間の延長等の爲に、列車の遲延を來し、非常管制長きに亘るか、或は連續數回實施せらるゝに於ては、列車遲延と組織驛の作業澁滯から遂に運轉不能列車を生ずるに至り、輸送力は平時の數割を減ずるに至るであらう

故に非常管制中の輸送力減少を可及的に防ぐ爲平時から左記事項に對し計畫準備を進め、豫め對策を講じて置かねばならぬ

1、非常管制下に於ける運轉方式
2、平常運輸方式より右非常運輸方式に移る場合の實施方
3、非常運轉方式に必要なる講施設
4、非常運轉方式に基く運行表の作製
5、非常運轉方式に依る場合の輸送力

今回の演習に於ては、諸種の關係戰時通りの燈火管制を實施して所要の訓練をなすことが出來ないのであるから此際に少くも戰時に對ずる計畫を關係方面に於て研究立案することを望むのである

二、燈火管制下に於ける危險豫防

警戒管制中運轉に必要なる燈火は概して平常の儘なるも列車の前照燈は著しく其光力を制限せられ前照燈の光に依つて障害を發見することは困難である、殊に非常管制中は一切の燈火は管制せられ車輛乘務員として爲すべき危險豫防上の對策が殆どないのである故に危險防止の爲次の樣なる注意と設備とを必要とする

一、乘務員の處置
出來得る限り速度を減少すること
踏切前には必ず警笛を吹鳴すること

二、通行者の注意
線路横斷の際は踏切前に一應停止して列車の進行して來るや否やを確めたる後通行すること

三、踏切監守
交通量相當大にして且踏切番なき場所には鐵道側に於て新に踏切番を設くるか或は市町村踏切監守班を編成し鐵道側と協力して踏切の監守に任じ危險の防止に努めなければならぬ

四、自動踏切警報機の增設
踏切の安全を期する爲更に自動踏切警報機を增設することが必要である
而して非常管制時に於ては警報機の警報燈は消燈せられなければならないから、電鈴を强力なものとし且警告燈は別個に配電せられるか遠方より制禦せらるる如くし、然らざる場合に於ては警報機に取扱容易なる開閉器を附屬させることが肝要である

燈火管制設備には充分の注意を拂はなければならない、非常管制時には電壓を下げて透視距離を減ずるのも一案であるが、簡便なる布與覆を施して減光し且散光せしめると其効果が一層大である

電車のスパークは飛行機から見るに非常に目立つものであるから燈火管制下に於てはその度が一層顯著であるから、各種の手段方法に依つてスパークの發生を防止せなければならぬ

參考として擧げるなら、關東防空演習の際横濱市電氣局に於ては左記の樣な處置を講じてゐる

イ、電車運轉の速度は非常管制中は平均十五粁（平常約二十粁）とし、シリースノッチを超ゆるノッチを使はざること
ロ、運轉中はポールの離線せざる樣特に注意し若離線したるときは運轉手は速にノッチをオフし直に停車の手段を取ること
ハ、セクションイン、ユレーター、トロリー、コンダクターを通過するとき又は分岐點、交叉點に於てフロッグクロッシング又はトロリー、ブレーカーの下を通過するときは運轉手は必ずノッチをオフすること
ニ、終點又は引返し場所に於て電車のエヤー、コンプレッサーモーターが運轉中はポールを引下げざること
ホ、トロリー、ホキールを豫め十分に點檢して摩耗の甚しきもの及運轉の際火花を發ずる虞あるものは之を取換へること
へ、トロリーホキールの比較的離線し易き分岐點等に對しては豫め十分に調査し極力離線せざる樣修理すること

右の如く處置せる結果凡そ平日の少くも二、三割方火花の發生を防止し得たりと稱せられて居る、併しながら將來は絶無ならしむる如く研究することが必要である

鐵道の燈火管制に就いては以上の外尚將來に殘されたる幾多の研究問題がある、又その實施に際しては常に非常なる危險を生ずる虞があるから鐵道のみならず一般國民も鐵道の燈火に伴ふ危險防止に關しては十分なる研究と訓練とを積まれることを希ふ次第である（完）

協和主義よりみた　(4)　オリムピック東京招致問題　—一つの私見として—

堀　鑛一郎

又昨年マニラに於ける極東大會に對して、滿洲國の參加問題を引携げて、大いに活躍奮戰し、一時は日本の体協と絶縁までした、滿洲國体育聯盟が、六月三十日發表せし其の聲明書に於て

随つて聯盟のこれが指導統制の方針も目下の所國内の整備を第一とし國際競技中心の天才主義の指導方針を排し一般的普及に對して國家的實力の養成を主眼とし日滿依存關係に立つて專ら友邦日本の指導をお願ひしてゐる次第でありますが比較的普及の容易なるものより漸次交換試合を開くこととゝなすにより指導者養成とこれが一般的普及に努めつゝある次第でありますオリムピック問題に對しましても以上の見解に基きまして國内の實力整備と將來をして意義あるべきを考へそれぞれ準備を進めて居りますがオリムピック採用の各種目を通して世界的に角逐出來る何物をも持たない以上その參加もなほ相當の時日を要するものと考へてゐます随つて第十二回オリムピックに參加する意圖は目下の所全く考へてゐないのであります現在は區々たる面子論は止めて國内實力の涵養に精進したく考へてゐます（六月一日附滿日）

と發表してゐるが如き

又六月一日附新京日日の紙上に於て、ケー、アイ生なる者が、オリムピック招致反對者へ猛省を促すとて

オリムピック開催の日は今より六年後の一九四〇年であることを考慮に入れて貰はぬと困る、今や世界の大勢が如何に動きつゝあるか寧ろ歐米諸國の客觀的情勢は滿洲國承認に向つて一歩を進めつゝあるのではないかと見られる節が多くあるとて六年後の國際情勢の推移に倚存し

然して數年後の滿洲國の地位が今日の促進で行くなら如何なる發展を見るであらうかも豫測して欲しい斯くの如き滿洲國にとつては最も自重すべき日に當つて其の内部から自ら不承認を覺悟しての反對運動を起す如きは愚の骨頂と云はねばなるまい

とて招致運動反對者に反對してゐるが如き

等等、或は反對的行動に、或は日和見的態度に出てゐるのはおそらく依然として、リベラリズムの魅力に眩惑されインターナショナリズムに陶醉せる者か、しからずんば此の運動の底流思想に對する認識の不足に因する者ならん

されば國民體育同志會の、オリムピック東京招致反對運動を闡明した、五月二十九日を契機として、滿洲及日本のスポーツ界には、自由主義と獨裁主義、國際主義と國家主義の夫々の觀點に立脚した、猛烈なる闘爭が展開されるであらうことを想像される

滿洲及び日本に於ける、此の兩者の闘爭は、又一面に於て、現代世相の反影具現にして、即ち滿洲事變を契機として擡頭したファッシズム思想と、此の新興思想の爲に驅逐沈默せしめられたリベラリズムとの抗爭縮圖でもある

されば此の國民体育同志會の運動こそは、その好むと好まざるとに限らず、又國民体育同志會なる團体を構成するメンバーの如何に拘らず、其の闘爭の結果はファシズムとリベラリズムの勢力の消長と勝敗に關はるところとなるであらう

而して此の運動を支援して立つものは、おそらく滿洲及び日本の國家主義的團体たるべく

註　滿洲に於ては既に、滿洲青年同志會が、去る五月三十日此の問題に對する態度を決すべく理事會を開催し、左の如き聲明を談話の形式で發表してゐる

青年同志會は滿洲國の建國精神に基き獨自の立場に立つて運動を起すものであり原口理事長が語つて居るが如く、今後と成行き如何に依つては同問題はスポーツ問題のみを中心とせず政治又は思想問題として論議される形勢を見せて來た（六月一日附滿日）

此の運動に反對して立つものは、政黨凋落の間隙に擡頭便乘した官僚群並に學閥ならん

北滿旅行便り（四）　=新京中學校=

ハルビン便り（二）

松花江で少憩の後キタイスカヤ街に出てボロバスをすてた、ボロバスと云へばハルビンの自動車は皆舊式で新しい車は殆と見られない、バスも新しい車數台を殘して外は皆ガタガタである、しかし北鐵を譲り表面上力を引きつゝあるロシア人の町ハルビンには最も相應しい樣に思はれた、路傍で花賣るロシア女の頭の布、人道にある綠色のベンチに腰を掛けて語り合ひ、新聞を讀み、通行く人々を眺めてゐるロシア人實に大陸的に出來てゐると思ふ、僕自身が長春に生れそだつたので大分大陸的—ぼんやりの意味でない—に出來てゐる心算であつたが祖先代々大陸人の彼等には到底及ばない、わずか二百四十粁新京よりはなれてこんな異國情緒を味ふことは北鐵の汽車がおそいと思はせるのをも助けてゐるかもしれない、キタイスカヤ街では滿人商店もロシア化してショウインドーも商品もロシア人の手でかざられ賣られてゐる所もあつた

各班別に見物しながらホテルに歸つた、晝食後自由見學に出た、寺院の圓い屋根や聖母の繪を見た時は非常に嬉しかつた、公園の木陰には白い大理石の十字架や墓を見た、正海の外人墓地を思ひ出したひげむしやのルンペンの樣なロシア人が滿員電車の入口にぶら下つて花束を大切にかゝへて居るのはいかにもロシア人らしいと想はれた

家に面した人道には鐵棒を渡して地下室に光を採つてゐた、路に居てバーの地下室のテーブルが見られるのは面白い、新京にもこんな所が在つて欲しいと思つた、眞白いひげのお爺さんが雨の中を傘をさしてベンチに腰を掛けて眠むつてゐるのか目をつむつてゐた、雨の中を僕等はお土産品をさげて歩いた

ホテルに歸つて買物の整理をし夜の散歩を樂しみに夕飯の卓に就いた

（三年、谷一士記）

●映畫評●　女優ナナ

アンナ・ステンがとてもいゝです！

アンナ・ステンのナナは美しい、妖艶な姿態の發散する官能の魅力は流石の文豪ゾラのナナさへ顔負けの態でありました、私達は今更此處で文豪ゾラを引合ひに出そうとは思ひません、それ程に、これはアンナ・ステンを讃美し、生かした映畫でありまして、謂ひ換へればアンナ・ステンのポートレート集の感さへあつたのであります、彼女を堪能するためにはこよなき一篇でこれはありました

◇

然し乍ら、如上の事柄を除いて考察してみますと、遺憾にも映畫「ナナ」は低調なメロドラマに過ぎなかつたのであります、それ丈ではなくその構成にも、感覺にも、いたる所に力弱い物足らなさや、大きな手ぬかりが見受けられるのでありまして、悲戀に涙するナナの純情すら聊の感激とてなく、胸衝く何ものをも私達に感知させ得なかつたではありませんか、

◇

そしてまた、ドロシー、アーズナーにしたつて、此の一篇の何處に監督としての彼を强調してゐる所があるのでありませうか—

◇

くりかへすようではありますが、之はこれ徹頭徹尾アンナ、ステンの爲めの映畫でありまして、これに附隨してフイリツプ・ホームス、ライオネル・アトウル等、助演者の好ましき動きが味び得る、そんな一篇でありました（N生）

新京ホトトギス句會

六日（木曜日）例會を三笠に催す、披講後淺茅先生の講評を得て、裨益されるところが多かつた、よき御指導を得て同人一同の精進はますます向上しやう。

淺茅先生選句

道端に孝子の碑あり柳絮飛ぶ　佐知緒
柳絮降る並木の中の停留所　同
この道はなつかしき道柳絮とぶ　弓女
柳絮とぶホテルの庭にライラック　同
風鐸の鳴るを仰げばとぶ柳絮　隆子

其他

貝割れの畑をかすめて柳絮飛ぶ　如水
柳絮飛ぶ中を雀の飛びたてる　牙城
人ごみの上を飛び去る柳絮かな　景月
相觸れて限界去らぬ柳絮かな　水頌
おとめらの軽き足並柳絮飛ぶ　三堂
柳絮飛ぶ日を樹蔭れの人戀し　淺茅

學藝ニュース

▲新京ホトトギス句會では十三日午後七時より三笠居に於いて例會を開催する　兼題　柳絮

現代ユーモア小說全集

断然面白い！素晴らしく愉快な全集！

▼先づ第一回配本は 佐々木邦先生著

世路第一歩 求婚時代

五〇〇頁の美本！實に安い！

ユーモア文學の大御所として大衆讀物界を風靡して居る佐々木邦先生の作中最も飛切りの快作傑作を揃へて何れも人生の諷刺に充ちた傑作であり讀む人をして快笑せしめる苦笑の裡に人生の眞理を明示する一讀に富む！

一度讀んだら忽ち誰でも愛讀者になる

挿繪は新進花形 小野佐世男氏

内容 ▲世路第一歩 ▲求婚時代 ▲村の名物 ▲善根 ▲首切り問答 ▲結婚事業

見よ！ユーモア文壇花形作家の勢揃ひ！傑作名篇の大豪華陣

巻	書名	著者	挿繪
1	世路第一歩 求婚時代 (篇數外)	佐々木邦	小野佐世男
2	丸ノ内五人女 豫約千萬長者 (篇數外)	辰野九紫	矢崎茂四
3	青春音頭 やきもち讀本 (篇數外)	サトウハチロー	横山隆一
4	街頭連絡 醫者と坊主 (篇數外)	北村小松	近藤日出造
5	碁盤貞操帶 喃扇樂屋譚 (篇數外)	徳川夢聲	石川義夫
6	虹の下の街 チエコとチヤコ株式會社 (篇數外)	中村正常	清水崑
7	パパの青春 新女性大學 (篇數外)	中野實	安本亮一
8	新婚道中記 女難滿壘 (篇數外)	益田甫	杉浦幸雄
9	浮世酒場 金髪日本人 (篇數外)	獅子文六	小山内龍
10	誰にも秘密がある 階段のある戀愛 (篇數外)	岡成志	益子善六
11	募金女學校 かげろふは春のけむりです (篇數外)	伊馬鵜平	志村和夫
12	豚兒廢業 五萬人と居士 (篇數外)	乾信一郎	富山まもる

挿繪は漫畫壇の新鋭總出動!!清新味横溢

誰にも喜ばれる近代人向の大衆讀物!!

四六判表紙極彩色各冊五〇〇頁

豫約定價 一冊・一圓 申込金ナシ (送料十四錢)

豫約募集 全十二巻 第一回配本書店にあり

1冊1円

東京市牛込區喜久井町三四 アトリヱ社 振替東京二〇〇六六

新高のキヤラメル

新高製菓大連工場 福田支店

N.2

淋病薬の選定は

医家の推奨する 複方ノボノール球に

各地薬店ニアリ

國都醫院

診療科目 内科、小兒科 外科、産婦人科 花柳病科、肛門病科

入院隨意

新京永樂町三丁目 領事館前京都旅館隣 電話四六〇六番

カモス歯磨

タバコのみの

煙草化粧品藥店ニアリ

●廣告の御用は電三三〇〇番へ●

村中式吸入器とノドトール

吸入器 (ファーストール二十錠付) 定價一圓三十錢 デパート各藥店にあり

ノドトール 效用 感冒、肺炎、氣管支炎、咽喉カタル、百日咳

定價 二十錠 二十錢 五十錠 四十五錢 百錠 八十錢

大阪麥後町 村中兄弟商會

自動車問題

初心者に運轉手免許試驗の及第を責任保證の爲本書は全國試驗官心血の問題を一見氷解せしむ▲東京府田無町▲東京自動車學校出版部 五百題五百頁 送料共特價引二圓 振替口座東京四七二番

石油 揮發油 礦油 專門店

●陸海軍鐵道省指定工場●

丸善石油株式會社 丸善礦油合名會社 土井石油株式會社

北滿代理店 新京祝町二ノ四

泰和洋行

電話三四六六・六四二八番

朝鮮銀行新京支店

本店 京城

支店出張所及派出所

内地 東京、大阪、大阪西區、神戸、下關

朝鮮 釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平壤、鎭南浦、元山、清津、羅南

滿洲 大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天小西關、錦州、赤峰、承德、鐵嶺、開原、四平街、哈爾賓、傅家甸、齊々哈爾、海拉爾、安東縣、龍井村、圖們、牡丹江

日本銀行代理店

電話 三六一六番 二三八九番

外科花柳病科 内科婦人科

醫學士 上山源六

朝日通り二二(とどろき前)

電話五七九五番

萬代湯

丈夫で・正確で・見よい ヘンミ体温計

閑花

日本橋通七 電話三一二〇二 三一二〇一

味の素

あぢのもと

是非を論ずる時代は、とっくに過ぎて

鹽や砂糖と同じ様な觀念で使はれる

此味なら御氣に召さぬ時代です

(全部專賣)

宮内省御用達 味の素本舗 鈴木商店

麗し、五族協和の花

演習に絡む佳話を拾ふ

空の護りを誓ふ 白系露人の申出に

佐野司令官が感激の握手

我等の大空を護れ、のスローガンを掲げ、五族協和の堅き握手による國都の防空演習は十一日の綜合演習に於て到るところ涙ぐましい和親のシーンを展開してゐるが、寛城子に居住する白系露人が突如自發的に吾等も『空の護り』に加へて貰ひたいと申出で防衛司令官佐野少將は欣然としてこれを快諾した寛城子に居住する白系露人三百七十餘名は「我等も滿洲國に居住する以上防護團に加つて共に大空を護る責任がある」と十一日午後一時三十分頃佐野防衛司令官が寛城子の防護巡視に赴いた際幕僚を通じて其の旨申入れ、代表者ゲルワーシウイッチ他三名は同日午後四時防衛司令部を訪問し、佐野司令官、各幕僚、武田聯合防護團長、植田特別地區防護團長らと會見本部玄關に於て佐野司令官は

五族協和の精神からあなた方が我防護團に加つてくれることは誠に喜ばしいことだどうぞ此の意味に於て一層の努力をお願ひする

と手を差しのべ代表者ゲ氏は

私共が防護團に加入をお願ひしたところ快くお聞き入れ下さつたことは洵に感謝に堪へません私共は及ばずながら協力共に國都の空の守りに努力することをお誓ひいたします

と堅い握手を交し五族協和、空の護りにふさはしい親和のシーンを展開した

異彩を放つ 滿洲國童子團

新京附屬地城内とも一齊に防空氣分に浸つてゐるが、この防空演習に一きは光彩を放つてゐるのは滿洲國童子團の活躍である炎熱舗装のアスファルトを溶かす暑氣を物ともせず市内要所及び各十字街の交通整理に當つてゐる、黄色の腕章を付け頰を眞赤に起つてゐる童子團の姿に日頃は警官の命令に從はぬ馬車夫でさへも信號のまゝに動いて居り自動車の中の日滿大官連も涙ぐましい童子團の活躍に敬意を表してゐた

大經路防護分團

焰で頰も燒けつく中學生に 通り掛りの應援

今回の防空演習は五族協和の本旨に即して行はれてゐるが到るところ日滿の涙ぐましい協力に統監部を感激せしめてゐる―十一日午前十時頃白菊町白菊會館前路上に毒瓦斯彈を投下され、附屬地第四分團防毒班は直ちに警報に應じて新に工夫した消毒車によつて極めて迅速の措置を講じたが續いて同所附近に燒夷彈落下し發火するや、防護團防火班は消防隊と連絡して消火につとめたが中でも中學生は頰を焰で眞赤にして猛火に包まれてゐる折、滿洲國側大經路分團では新發屯附近に於ける毒瓦斯彈投下消毒演習を終つて本部に引揚る途中通りかゝり附屬地分團に協力消火に務め無事に終了したが此の日滿融和の麗しい情景に參觀者はひとしく感激に打たれてゐた

女學校救護班 健氣なる活躍

敵機郵便局を襲ふ

防空演習初日の午後、突如國都の上空に現はれた敵機は通信機關の中樞をなす中央郵便局を目標に燒　彈催涙ガスを頻りに散布した局建物は黒煙濛々と火災を起し消防隊の出動となつた、同時に附近に演習見學中の小學兒童は盛んに催涙にかゝり救護班は女學校救護班の應援のもとに消毒、救護に機敏な動作で一人の犧牲者も出さず敵は相當被害をうけて北方へ遁走した

演習中負傷した 尾越氏

防空演習初日に負傷者一名を出す―十一日午前十一時ごろ敵の燒　彈を投下された新京驛貨物事務所構内に火災を生じた際、新京鐵路局總務處長室尾越格郎氏は發煙筒を發火させるため摩擦した際、發煙筒が直ちに爆發し右手に重傷左手に輕傷の火傷を負ひ直ちに救護班の應急手當を受けた同氏は防護本部員のすゝめも耳にせず痛手も忘れて最後まで本部に頑張り通した

遺憾なし 日滿の協力

南廣場を襲つた敵機は時を移さず午後三時三十三分東站新京鐵路局の頭上に現はれまた〳〵燒　彈數彈を鐵路局に投下した、黒煙濛々と火炎天に沖し延燒を起すや、鐵道防護團は消火、消毒、救護につとめ漸く消しとめたるが、中にも滿人從事員、滿人看護婦及び日本少年團の救護、交通整理に目覺ましい活動をなしたのは日滿協力防空の實を遺憾なく發揮したもので、中でも大いに目立つてゐた

防護團に寄附 カフエー組合から

新京カフエー組合では今次の防空演習に際し防空基金として聯合防護團に百五十圓を寄附した

飲食店組合も 百圓を寄附

附屬地飲食店組合では十一日午前中行はれた綜合防空演習における附屬地區防護團第二分團の活躍に感動し同分團の事業費に金百圓を寄附した

防空演習最高潮に―

空襲の試練も潜り けふ應用演習に入る

空襲第一夜の燈火管制の試練を美事に潜り抜けた國都綜合防空演習は第一日の基本演習を終へ、市民の防空熱は愈々高潮し今日第二日は本演習の花たる應用演習に入つた

列車ひかり目標に 旅客に催涙ガス

夜襲を受けた新京驛構内

鐵道破壞の目的で驛上空を襲つた敵機は九時着ひかりの到着前に催涙ガスを投下した、驛防護團では稻川團長の指揮の下に一糸亂れぬ全團員が燈火管制、消毒、交通整理に大活躍、百餘名の出迎人は唯彼も涙を流し痛む眼を押へて暗闇のホームに右往左往で旅客も出迎人も面喰つた、が完全に行はれた管制に敵機も思ふに委せず北方に向ひ遁去した

昨夜の燈火管制は まづ成績良好

東京のそれと大體同じ

夜襲第一夜の空襲管制は大体東京における防空演習時と同樣なる好成績を收め最初の防空演習としては成功であつたが殊に第二、第三、寛城子各分團並に鐵道側の成績は良好であつた、たゞ滿洲國消費組合、大商店街殊に中央通は比較的惡かつたことが惜しまれてゐる、なほ警戒管制は十日夜から續行してゐるのであつたが未だに徹底しなかつた向もあり殊に管制中點滅する家などがあつたが敵機の目標となる恐れが充分あるので注意されたいと

鐵道防衛本部

防空演習初日午後の鐵道防衛本部では鐵道建設事務所構内に催涙ガスが投下されたのを始め同三十三分には東站で鐵路局玄關が燒　彈に見舞はれ大火災を起すなど帝都交通機關破壞のため猛烈な爆彈投下にもたゆまず鐵道防衛本部では敵機の夜襲に備へた

天晴れ監視哨 斷然拔群の成績

通過時刻寸秒違はず

綜合演習第一日の成績は各機關とも豫想外の好成績を示してゐるが中でも監視哨の成績は拔群なるもの、第一回空襲以來敵機の各地通過は正確に報導されてゐる、十一日哈爾濱より歸京した南軍司令官搭乘機の如き演習外のものであるが各地通過が分秒も違はず情報盤に現はれるなど其の活躍振りは防衛司令部を欣ばせてゐる

小泉中將招宴

明治二十九年創立以來、軍人及びその家族、遺族の保護救濟に當つて來た帝國軍人後援會では在滿部隊の慰問のため理事常務副會長小泉六一中將を派したが同中將は昨十一日午後四時よりヤマトホテルに新京の官民多數を招待し同會の沿革、事業を說明し一層の後援を求める

隨時編隊の敵軍 大擧國都を襲ふ

大同廣場を中心に展開

綜合演習第二日、十二日は應用演習である、この日の空襲は少くとも午前中二回、午後二回、夜間一回の敵襲のほかに隨時編隊の國都襲撃が敢行され、而もその時期、經路區分方法等は全く不明で實戰宛ら空に陸に攻防戰闘の大繪卷が展開される、應用演習の火蓋は綜合演習中の白眉たる大同廣場を中心に附近一帶に展開される銀翼群の一大空中戰鬪および高射砲隊、照空隊その他全化學兵器を集中した積極的防空隊、各防護團の協力防衛の攻防戰によつて切られるのである、以下この日の想定の概要を示せば次の通り

△午前十時　大同廣場國都建設局に燒夷彈、ガス彈投下 國都建設局および文敎部特種防護團を中心に特別市區附屬地區その他各消防隊の協力による攻防演習

△同十時半　西公園前に燒夷彈、ガス彈投下

△午後三時　宮内府前同

△同八時　康德會館前同

△午前十時から軍司令部東北側凹地に於て聯合防護團工作班の煙幕による遮蔽演習

△このほか敵機の行動に伴ひ隨時防禦演習を展開する

見學者の注意

一、演習時間は十二日午前十時より約四十分間

一、演習見學者は午前九時卅分迄に大同廣場に到着しなければ交通止めとなる

一、一般見學者の位置は大同廣場の北側中央銀行建築場前

一、學生其他團休見學者は日本側は大同廣場西側電々會社新築場前、滿人側は大同廣場東側空地

一、特別指定觀覽者は外交部前

一、交通止めは午前九時半より同五十分迄

佐野司令官 燈火管制視察

佐野防衛司令官は十一日午後八時三十五分より幕僚を随へ關東軍司令部屋上より市内の燈火管制狀況を視察し續いて八時五十分新京驛に至り急行列車の到着狀況を詳に視察した

スワ敵機の夜襲

忽ち全市に燈火管制

歡樂の國都阿鼻叫喚の巷に

犬一匹も見逃すまいとする監視哨の鋭い眼は突如南嶺の北方二千キロの上空に敵の

機影 午後八時十五分を認めた、時に直に「敵機現る」の急報が防衛司令部へ飛ぶ、瞬間空襲のサイレンがけたゝましく鳴り響き國都は一瞬のうちに闇黒の都と化してしまつた、轟然たる爆音ももの凄く敵の爆撃編隊は刻々と國都を襲ひつゝあるのだ、早くも南嶺を通過した敵機は城内四道街警察署附近上空に差しかゝるやドーン〳〵と續けさまに爆撃を開始した「空襲だあ!」晝間の疲れもなんのその、四道街分團員の果敢な活躍は忽ちのうちに濛々たる火炎を吹き飛ばしてしまつた、敵もさるもの、こん度は毒ガス彈の投下だ「毒ガスだぞー」「皆んな避難所へ行け!」阿鼻叫喚の慘狀も防毒班の練達した訓練と巧な交通整理によつて難なく救出することが出來た第一回爆撃の失敗によつて憤激する敵機は更に國都の中心へ〳〵と襲來したこの時待機せる照空隊は一齊に敵機目がけて光芒の矢を放つた、ゐた〳〵重爆機、輕爆機十數機はます〳〵

猛威 を振つて荒れ狂ふではないか、高射機關銃の連射、照空燈の挾みうちのなかを敵機は大經路、ダイヤ街、寛城子と連續的に爆彈、毒ガス彈を亂投して國都を灰燼に歸せんとしたが、地上は眞闇だ、午後九時十分わが統制ある燈火管制に妨げられ、照空燈と高射砲に迫擊された敵機編隊は爆擊を斷念したか北方の空指して飛翔し去つてしまつた、長通路、大馬路を手始めに四道街、鐵道北を續けさまに襲擊したが遂に目的を果さず、激戰三十分の後敵機は逆襲され逃げ去つてしまつた、午後敵機の夜襲を見事擊退してホッとしたのも束の間又復午後十時第二次夜襲を企圖せる敵機は國都上空に來襲した、十時卅分かくてサイレンの鳴響と共に空襲管制は解かれ無氣味な沈默のうちに演習第一夜は更けてゆく

―備考―
[火]火災情況現示位置 [工]水道管破壞地點 [瓦]毒瓦斯彈落下情況現示地點 [十]臨時救護所

領事館管内 徵兵檢查成績

新京に於ける本年度徵兵檢查第六、七、八、九日は概ね新京總領事館管内在留の壯丁について實施されたが其の綜合成績は次の通りである

▲甲種九六▲第一乙種六三▲第二乙種一〇三▲丙種一一▲丁種二▲戊種一―計三七六

第十日(六月十一日)は范家屯、公主嶺警察署、郭家店領事館内壯丁で第十一日(十二日)は四平街警察署管内壯丁、第十二日(十三日)は吉林、敦化領事館管内壯丁である

「無言の凱旋」

遺骨十二體 明日午前十時發列車で

本日午後二時五十五分着列車で北滿警備中名譽の戰死を遂げた遺骨九体がハルビンより到着するが、同日は午後三時十分吉林より同二体着京、之に新京衛戍病院よりの一体と合して、計十二体明十三日午前十時發列車で南行内地へ向け無言の凱旋をすることになつた

けふの防空行事

△十二日午前十時　大同廣場、國都建設局、外交部附近一帶に亘つて大攻防演習

△同　軍司令部東北側凹地において煙幕による遮蔽演習

△十時半　西公園前廣場において爆彈投下による第二、第三分團の防禦演習

△午後三時　宮内府前廣場において同

△八時　康德會館前において同

△右のほかけふは隨時國都の空襲を敢行し、積極的防空隊および防護團の演習が行はれる

新生座公演 演し物きまる

大亞細亞婦人聯盟新京支部主催の新生座公演は來る十四、十五、十六の三日間晝夜記念公會堂で開演されるが、出し物は、一、良辨慶二、布袋丸と蓮の前三、吉崎御坊肉附の面四、安達ケ原三段目で何れも松本高麗次郎、花村緋紗千一黨の十八番もの、會費は一圓八十錢均一のところ前賣券を一圓五十錢で發賣してゐる

父正作儀豫而病氣療養中ノ處養生不相叶六月十一日午前九時死去致候間此段御通知申上候
追而告別式ハ十二日午後四時ヨリ大正寺ニ於テ相營可申候

昭和十年六月十一日　新京羽衣町四丁目二十四番地

男　渡邊正久
妻　同　きぬ
親戚總代　谷村武
　　　　　西澤四郎
友人總代　大岩銀象
　　　　　松尾盛男
　　　　　倉橋泰彦

女人婆羅門

(映畫化上演) 長田秀雄 西正世志畫

(百六十二)

東都錦繪(二)

建部四郎と疫病門お絹が、那古船に乗つて、海の彼方に消え去つてから、梅子はぼんやりとして戻つてきた。

島目の黒助方を一寸覗いて見ると、ひつそり閑として、長火鉢のそばで、黒助が煙草を輪に吹いてゐた。

「もし、親分様、横須賀とやらから電信とか電話とかより、建部様の小父さんや、お母さんを縛りにくるとおつしやいましたが」

梅子は不思議さうに訊ねた。

「まだ、そのお役人もお出でのない様子。——もしや、あの那古船の後を出張のお役人が早廻りして追駈けて行き、お母さん達は縛られるのではないでせうか……」

それには答へないで、

「こう、梅さん、うまく行きやしたねえ、はつはつは……」

そう云つて笑ふ黒助の顔を、梅子にまじ／＼と見つめた。

「え、うまく行つたとは？」

「まあ驚きなさんな。みんな俺が書いた狂言だよ」

「ひえつ——」

黒助は、梅子の方に向き直つた

「と云つたら、驚きなすつたらう。しかし、それにはちつと譯がある。けふまで幾月といふその間に大體の様子も解つて見れば、いかにもお前が可哀想だ。その上お前には町田信也様とかいふいとしい男のあることも聞いてゐる。現在の親とは云へ、情夫のためにあの始末、お前を助けた上で、それほど戀ふ東京の町田とかいふ旦那にも遇はして遣りたい——と云ふ俺の肚だけんど、戻た所も、油断を見せぬあの二人だから、子分の奴等に云ひ含めて、お上を土臺におどしつけ、房州廻りの船に乗せて追掃つたんだ、もう當分は帰つてくる氣遣ひはねえから、ゆつくり遊でもつかひ、久し振りに白粉でもつけて、嬉しい日を待つて居なせえ」

島目の黒助は、梅子を前にしんみりと誂つた。

その様子は微塵も嬉はしいところがなかつた。

梅子は久しぶりに人の情に浸つた様に思つた。涙があふれて來た。

「さう云ふお心とは知らずに、私は大きに驚きましたが、お前さんの御親切、なんともお禮の申上げやうもございません。そして、お母さんや四郎は、安房國まで落延びれば、それから後はどうなるでございませう」

「なあに、お前のお母アでも、あんな悪い奴は何うでも碌なことはあるめへ。親とは言條、お前のためには敵だから、そんなに心配するには及ばねえ。まあ人間は先づ自分の身のまわりから片づけなくちや、他人事ばかり關はつて居ると、自分が他人様に厄介をかけるやうになつて行くから、あんな奴等の事は、サラリと忘れた方がいゝぜ……これから先は、及ばずながら、この島目の黒助が、お前のために、悪いやうにはしねえから、大船に乗つた氣でゐなせえ」

「有難う存じます。頼り少い身體故、どうぞ宜しくお願ひ申します。では……そのお情に甘えまして……あの……東京の……」

「おつと」

と、黒助から抑へた。

「皆まで云ひなさんな。町田信也様とかいふお前の情人とやら、二世の約束をした夫とやらいふその方に遇はしてやりませう。幸ひ久しくこの俺も、東京見物をしたことがねえ。番頭の顔と較べたら大分、黙つてるに違ひない、と思つて、俺も、ぜひ一度、文明開化の東京の有様が見てえ所だから、明日、お前と連立つて、東京へ行くとしよう」

「え、それぢや明日、東京に——本當でございますか」

梅子は（戀人に遇へる）と思ふと、もう、胸がどき／＼と鳴つて來て、嬉し涙を一杯に湛えた眼で黒助を伏せ拜んだ。